

記者配布資料

大阪経済記者クラブ会員各位

大阪商工会議所 次期ビジョンについて 「たんと繁盛 大阪アクション ～最前線×最先端で、日本とアジアを牽引～」

【お問合せ先】大阪商工会議所 総務広報部（中村・笹本）

TEL：06-6944-6324

＜次期ビジョンの概要＞

～「アジアとともに成長」し、「日本の成長を牽引」する都市をめざす

- 大阪商工会議所は、このほど、今後の事業運営の基本となる新しいビジョン「たんと繁盛 大阪アクション ～最前線×最先端で、日本とアジアを牽引～」を取りまとめた。現在展開中の「千客万来都市OSAKAプラン」（2011年度～2016年度）の後継ビジョンとして、2017年度から3年間かけて取り組む。
- 次期ビジョンがめざす大阪・関西の都市像は、①日本全体の成長を牽引する「最有力の極の一つ」と、②アジアとともに成長する「アジアのイノベーションハブ」の2本柱。2025年～2030年頃の実現をめざし、当面3年間は、「3つの戦略フィールド・8つの戦略プロジェクト」と「5つの基盤強化」にカテゴライズした総計60事業を推進。中堅・中小企業の成長分野への参入支援を通じ、大阪・関西の成長力強化に全力を挙げる。
- ビジョンの名称は、国内外の様々な人や企業を惹きつけ、大阪を舞台にビジネスが大いに（たんと）繁盛し、大阪自体も繁盛するよう、他に先駆けて先端分野に取り組み、日本やアジアを牽引していくとの強い思いを込めたもの。

＜次期ビジョンのポイント＞

～「ウェルネス加速フィールド」

- 大阪商工会議所では、これまでライフサイエンス分野において、創薬や医療機器の事業化プラットフォームに精力的に取り組んできたが、今後は、意識的に拠点整備にも力を入れ、産業集積を加速させる。
- 同時に、新しい事業フィールドとして、「スポーツ産業」に着目し、スポーツ×ものづくり・食・観光・サービスなど新ビジネスを創出する。かねて精力的に振興してきたライフサイエンス産業との相乗効果により、大阪・関西の新たなリーディング産業をめざす。

～「インバウンド増進フィールド」

- 観光消費の継続的な拡大に向け、大阪が強みを持つ「ショッピング」と「フード」に焦点を当て、観光魅力として訪日客に売り込む。
- 同時に、水都大阪再生、「なんば駅前の広場化」など、都市魅力向上に取り組む。

～「マーケット創出フィールド」

- I o T、A I、ロボティクスなど第4次産業革命分野の実用化を推進するため、企業間連携のプラットフォームを運営するとともに、実証事業の機会確保を図る。具体的には、今回新たに、大阪市が管理する公共空間や施設での実証事業が容易になるよう、大阪市に包括提携を申し入れているところ。こうした取り組みを重ねることにより、企業の研究開発活動の場として、大阪が選択されることを期待。
- また、大阪工業大学が来年4月に梅田に設置予定の「ロボティクス&デザインセンター」（3Dプリンターなどを備えた試作ラボ）と連携し、ものづくりベンチャーの発掘・育成、オープンイノベーションの促進事業に新たに取り組む（「メイカーズ大阪」（仮称）事業）。同時に、大阪商工会議所の支部をベースに、中小企業が技術や設備などの情報を共有する「町工場ネットワーク」を構築し、横請けや試作・量産などビジネス機会を生み出していく。
- あわせて、製品・サービスを、国内外に展開していくため、グローバル市場開拓や、商流創造に取り組む。

～新戦力フロンティア人材発掘プロジェクト

- 上記の各分野の事業を支える横軸的な戦略プロジェクトとして、女性活躍や留学生の採用支援、若手経営者の育成事業などに注力する。

～5つの基盤強化事業

- 中小企業のビジネス環境整備のため、「ビジネス拡大」「人材確保・育成」「創業・経営支援」「インフラ整備」「政策提言・要望」の5つの基盤強化事業に取り組んでいく。
- こうした事業を通じ、先端分野の尖ったビジネスも、中小企業や商店街など地道な商売も「たと」繁盛し、日本とアジアの成長を牽引する大阪・関西を創っていく。

以 上

【添付資料】

- ・資料1：「たとと繁盛 大阪アクション」概要版
- ・資料2：「たとと繁盛 大阪アクション」（本体資料）
- ・資料3：アクションプラン（60事業の詳細）
- ・資料4：評価指標
- ・資料5：背景（社会経済データ）

今後の経済・社会環境の変化

- ① 新興国の成長
- ② 少子高齢化と人口減少
- ③ 情報通信技術の飛躍的発展
- ④ 都市間競争の激化
- ⑤ 国の成長戦略の進化と東京一極集中の是正

大阪・関西の現状と強み

- ① 特色あるものづくり
- ② 研究開発機能の集積
- ③ アジアとの結びつき
- ④ 流通・サービス業の集積
- ⑤ 豊富な観光資源

日本が向かうべき方向性

- ・豊かな国や地域を創るための大前提は、力強い成長である
- ・成長力強化のためには、地域の多様性が不可欠であり、今後、日本全体の成長力を高めていくために、また国家としてのレジリエンスを確保するためにも、それぞれの地域が独自の発展を遂げる「多極化」が必要

大阪・関西がめざすべき都市像（2025～2030年頃）

- ・大阪・関西は、既存の集積・強みを活用するとともに、広域連携・産学官連携を強化して、アジアと直接つながり、イノベーションを誘発することで、最も有力な「極」の一つとして、日本の成長を牽引していく
- ・今後大きな成長が期待され、大阪・関西に強み・ポテンシャルがある先端分野において、国内随一の研究開発・産業の集積をはかり、国内外から多様で高度な人材・企業を呼び寄せ、アジアの中で新たなイノベーションの発信拠点となることをめざす



たとと繁盛 大阪アクション

～最前線×最先端で、日本とアジアを牽引～
(2017～2019年度)

成長力強化

成長を牽引する産業力強化

好循環

成長の舞台としての都市力強化

＜戦略フィールド＞ 中堅・中小企業の成長分野参入を支援

【1】ウェルネス加速フィールド

～ライフサイエンス産業＋スポーツ産業の相乗効果の発揮～

- ・ライフサイエンス産業を深耕するとともに、スポーツを核とした新ビジネスを創出することで、大阪・関西のリーディング産業として、さらにその成長を加速させる
- ・創薬・医療機器・ヘルスケア・スポーツの各分野の産業化プラットフォームと産業拠点形成をリンクさせ、関連産業の集積を推進する

①ライフサイエンス産業の深耕プロジェクト

- 創薬・医療機器・ヘルスケア各分野での産学・産産連携プラットフォームの充実をはかる
- うめきた・中之島・健都等における産業拠点を形成するとともに、民間によるラボ設置等を推進する“まちなか”イノベーションを進め、「バイオリン構想」の実現をめざす

②スポーツ産業の創出プロジェクト

- スポーツ×ものづくり・食・観光・サービス等、大学の研究成果や企業の開発ニーズを関心企業とマッチングする
- JISS-WEST（国立スポーツ科学センター西日本拠点）や大学、関連企業等の研究開発・事業化拠点の集積をはかる

【2】インバウンド増進フィールド

～観光消費や対内投資の増進～

- ・観光の産業化、都市魅力の向上をはかり、観光消費や対内投資の拡大などインバウンドを増進する
- ・公共空間の民間活用などで、成長の舞台としての都市力を強化する

③観光の本格的な産業化プロジェクト

- 大阪観光局（DMO）と連携し、観光ビジネスへの新規参入支援など関連産業を振興する
- ショッピングツーリズムや、フードツーリズム（大阪割烹のIT案内システム構築等）を振興し、リピーターの獲得、大阪ブランドの浸透を推進する

④都市魅力のさらなる向上プロジェクト

- 水都大阪の再生や、公共空間の民間による活用等、ビジネス的手法による、都市魅力の向上をはかる
- なんば駅前の広場化など、賑わいエリア支援に取り組むほか、関西広域での連携によるインバウンドの増進をめざす

【3】マーケット創出フィールド

～次世代ものづくり、サービス産業の振興～

- ・オープンイノベーションから社会実証・実装までを包括支援し、製造業からサービス業まで、あらゆる産業分野での新ビジネスを創出する
- ・新たな商流、グローバル市場開拓へとつなげる

⑤イノベーション・エコシステムの構築プロジェクト

- IoTや人工知能、ビッグデータ、ドローン等の先端産業分野でのオープンイノベーションや、大阪市との包括提携(申入れ)による、大阪市内での実証事業を推進する
- 大阪工業大学等との連携による、ものづくりベンチャーの拠点「メイカース大阪」(仮称)や、町工場ネットワークの構築によって、新ビジネスを創出する

⑥グローバル市場開拓プロジェクト

- シルバービジネスや水素・燃料電池等、先進有望分野でのビジネス促進、アセアン地域への2次進出支援に取り組む

⑦商流創造プロジェクト

- 商談会やEC市場を活用した販路開拓支援など、商談機会を拡充し、国内外と結ばれる商流拠点機能を強化する

⑧新戦力フロンティア人材発掘プロジェクト

- 新規学卒者、女性、外国人留学生など次代を担う人材の活躍促進、人材確保のための働きやすい環境を整備する
- オファー型求人サイトや、企業連携による保育サービスネットワーク事業、大阪サクヤヒメ表彰等を実施する

＜基盤強化＞

中堅・中小企業のビジネス環境を整備

ビジネス拡大

人材確保・育成

創業・経営支援

インフラ整備

政策提言・要望

たんと繁盛 大阪アクション

～最前線×最先端で、日本とアジアを牽引～

2016年12月

大阪商工会議所

- ◆大阪・関西が向かうべき方向性
- ◆大阪・関西がめざすべき都市像（2025～2030年頃）
- ◆大阪商工会議所 次期ビジョンコンセプト（2017～2019年度）
 - ・戦略フィールド① ウェルネス加速フィールド
 - ・戦略フィールド② インバウンド増進フィールド
 - ・戦略フィールド③ マーケット創出フィールド

＜今後の経済・社会環境の変化＞

①新興国の成長

アジアを中心とした経済成長と中間層の増加に伴い、幅広いビジネス交流やインバウンド消費が拡大

②少子高齢化と人口減少

日本をはじめとした先進諸国で高齢化と人口減少が進展

③情報通信技術の飛躍的発展

IoT、ビッグデータ、AIといった先端分野での技術革新による新ビジネスの創出

④都市間競争の激化

世界的に都市部への人口集積が進展し、都市間競争がさらに激化

⑤国の成長戦略の進化と東京一極集中の是正

成長産業分野（フロンティア）の模索・開拓
地方創生への注力、国家的レジリエンスの強化

＜大阪・関西の現状と強み＞

①特色あるものづくり

ライフサイエンス分野、素材、電子部品などで高い集積やポテンシャル

②研究開発機能の集積

特に医薬品・医療機器、化学、機械・電機機器、食品分野における企業の研究開発拠点、大学の集積

③アジアとの結びつき

輸出入に占めるアジア比率の高さ、LCC就航路線数の多さ

④流通・サービス業の集積

他地域に比した相対的な強み、インバウンド効果

⑤豊富な観光資源

歴史・文化資源の集積

＜日本が向かうべき方向性＞

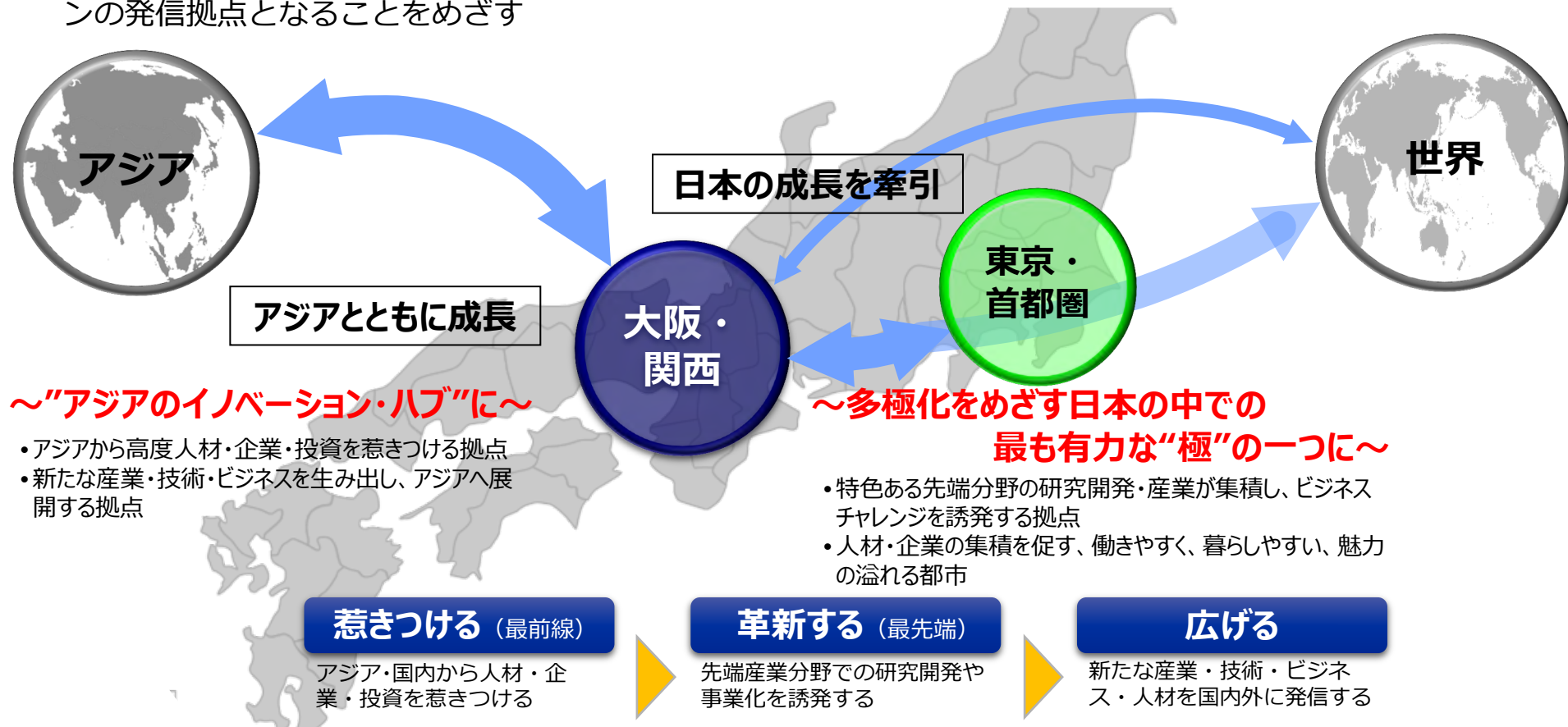
- 豊かな国や地域を創るための大前提は、力強い成長である
- 成長力強化のためには、地域の多様性が不可欠であり、今後、日本全体の成長力を高めていくために、また国家としてのレジリエンスを確保するためにも、それぞれの地域が独自の発展を遂げる「多極化」が必要

＜大阪・関西が向かうべき方向性＞

- 大阪・関西は、既存の集積・強みを活用するとともに、広域連携・産学官連携を強化して、アジアと直接つながり、イノベーションを誘発することで、最も有力な「極」の一つとして、日本の成長を牽引していく
- 今後大きな成長が期待され、大阪・関西に強み・ポテンシャルがある先端分野において、国内随一の研究開発・産業の集積をはかり、国内外から多様で高度な人材・企業を呼び寄せ、アジアの中で新たなイノベーションの発信拠点となることをめざす

大阪・関西がめざすべき都市像（2025～2030年頃）

- 大阪・関西は、既存の集積・強みを活用するとともに、広域連携・産学官連携を強化して、アジアと直接つながり、イノベーションを誘発することで、最も有力な「極」の一つとして、日本の成長を牽引していく
- 今後大きな成長が期待され、大阪・関西に強み・ポテンシャルがある先端分野において、国内随一の研究開発・産業の集積をはかり、国内外から多様で高度な人材・企業を呼び寄せ、アジアの中で新たなイノベーションの発信拠点となることをめざす



たとと繁盛 大阪アクション
～最前線×最先端で、日本とアジアを牽引～

たんと繁盛 大阪アクション ～最前線×最先端で、日本とアジアを牽引～

成長力強化

成長を牽引する
産業力強化



成長の舞台としての
都市力強化

➤ <戦略フィールド> 中堅・中小企業の成長分野参入を支援

【1】ウェルネス加速フィールド
～ライフサイエンス産業＋
スポーツ産業の相乗効果の発揮～

① ライフサイエンス産業の
深耕プロジェクト

② スポーツ産業の創出
プロジェクト

【2】インバウンド増進フィールド
～観光消費や対内投資の増進～

③ 観光の本格的な産業化
プロジェクト

④ 都市魅力のさらなる向上
プロジェクト

【3】マーケット創出フィールド
～次世代ものづくり、サービス産業の振興～

⑤ イノベーション・エコシステム
の構築プロジェクト

⑥ グローバル市場開拓
プロジェクト

⑦ 商流創造プロジェクト

⑧ 新戦カフロンティア人材発掘プロジェクト

➤ <基盤強化> 中堅・中小企業のビジネス環境を整備

ビジネス拡大

人材確保・育成

創業・経営支援

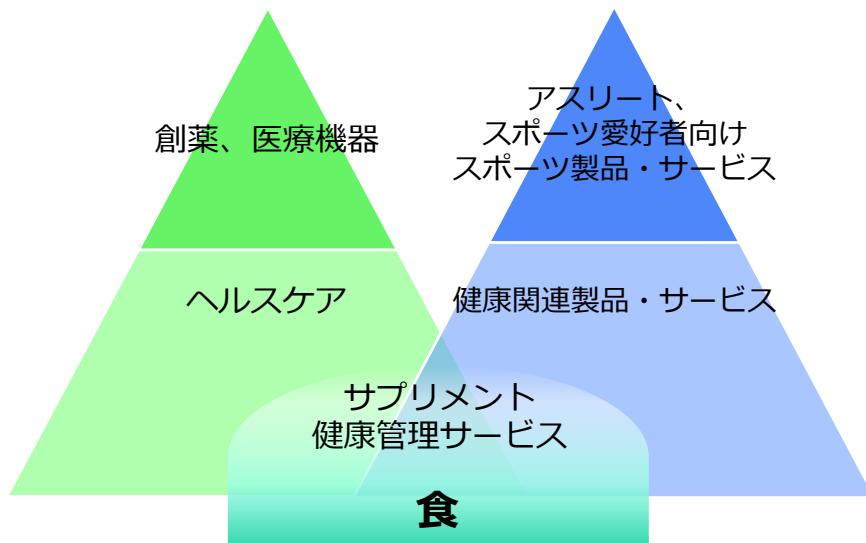
インフラ整備

政策提言・要望

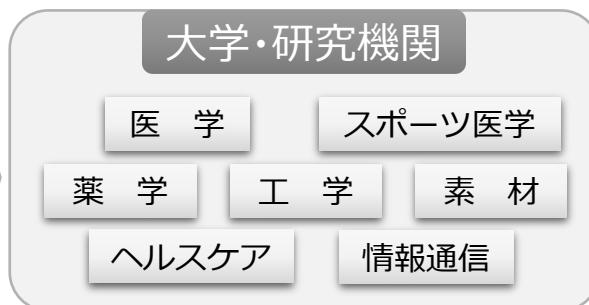
戦略フィールド① ウェルネス加速フィールド

- ・ ライフサイエンス産業を深耕するとともに、スポーツを核とした新ビジネスを創出することで、大阪・関西のリーディング産業として、さらにその成長を加速させる
- ・ 創薬・医療機器・ヘルスケア・スポーツの各分野の産業化プラットフォームと産業拠点形成をリンクさせ、関連産業集積を推進

ライフサイエンス産業 スポーツ産業



産学連携・産産連携



幅広い分野を組み合わせる

産学連携・産産連携 プラットフォーム

創薬支援プラットフォーム
(大学等の創薬シーズを企業に提案)

医療機器ビジネス支援プラットフォーム
(医療現場のニーズから医療機器を開発)

ヘルスケア産業振興
(機能性表示食品やデジタルヘルス等)

スポーツビジネス振興
(スポーツに関連するビジネスを創出)

新ビジネス創出
+
関連産業集積・拠点形成

特区活用・規制緩和

戦略フィールド① ウェルネス加速フィールド

- うめきた・中之島・健都等における産業拠点を形成するとともに、民間によるラボ設置等を推進する
“まちなか”イノベーションを進め、彩都・大阪大学から続く「バイオリン構想」の実現をめざす
同時に神戸、京都の集積との相乗効果を発揮する
- スポーツ産業においても、JISS-WESTや大学、関連企業等の研究開発・事業化拠点の集積をはかる

ライフサイエンス産業の深耕

うめきた・中之島・健都等における産業拠点形成、民間によるラボ設置等

スポーツ産業の創出

JISS-WESTや大学、関連企業等の研究開発・事業化拠点の集積をはかり、産業化を支援

スポーツ産業創出拠点

既存	1 大阪大学医学部(スポーツ医学分野)(吹田市)
	2 アスリートケア事務局(大阪市北区)
	3 大阪府立健康科学センター(大阪市東成区)
	4 近畿大学スポーツ振興センター(東大阪市)
	5 舞洲(プロスポーツチームとの連携等)(大阪市此花区)
	6 大阪市立大学 都市健康・スポーツ研究センター(大阪市住吉区)
	7 関西大学人間健康学部(堺市)
	8 大阪教育大学大学院保健体育専攻(柏原市)
	9 大阪府立大学総合リハビリテーション学研究所(羽曳野市)
	10 大阪体育大学トレーニング科学センター(熊取町)
構想	11 国立スポーツ科学センター(JISS)西日本拠点(箕面市)

バイオリン構想

彩都・大阪大学等から、うめきた・中之島・道修町等に続く、産業拠点形成

関西の他のライフサイエンス拠点との連携

神戸医療産業都市

ライフサイエンス産業とスポーツ産業の相乗効果の発揮

京都大学

けいはんな学研都市

ライフサイエンス産業創出拠点

既存	1 医薬基盤・健康・栄養研究所(茨木市)
	2 彩都バイオインキュベーション施設(茨木市)
	3 大阪大学、大阪大学医学部附属病院(吹田市)
	4 国立循環器病研究センター(吹田市)
	5 理化学研究所 生命システム研究センター(吹田市)
	6 PMDA WEST/AMED WEST(大阪市北区)
	7 大阪国際がんセンター(大阪市中心区)
	8 大阪市立大学医学部附属病院(大阪市阿倍野区)
	9 近畿大学医学部附属病院(大阪狭山市)
	10 彩都LSパーク(茨木市)
計画	11 健都(吹田市・摂津市)
構想	12 うめきたライフデザインイノベーション拠点(大阪市北区)
	13 中之島再生医療センター(大阪市北区)
	14 まちなかイノベーション拠点/民間レンタルオフィス/民間レンタルラボ等(道修町等大阪都心部各所)

① ライフサイエンス産業の 深耕プロジェクト

～産業化プラットフォームと、産業拠点形成をリンクさせ、
関連産業集積を推進～

- 創薬・医療機器・ヘルスケア（機能性表示食品を含む）各分野での、産学・産産連携プラットフォームの充実
 - ・ DSANJにおけるバリデーション（妥当性確認）の実施、アジアとの協働による大学発創薬シーズベンチャーの設立支援
- “まちなか”イノベーション／バイオライン構想
 - ・ うめきた・中之島・健都等における産業拠点形成、民間によるラボ設置等を推進

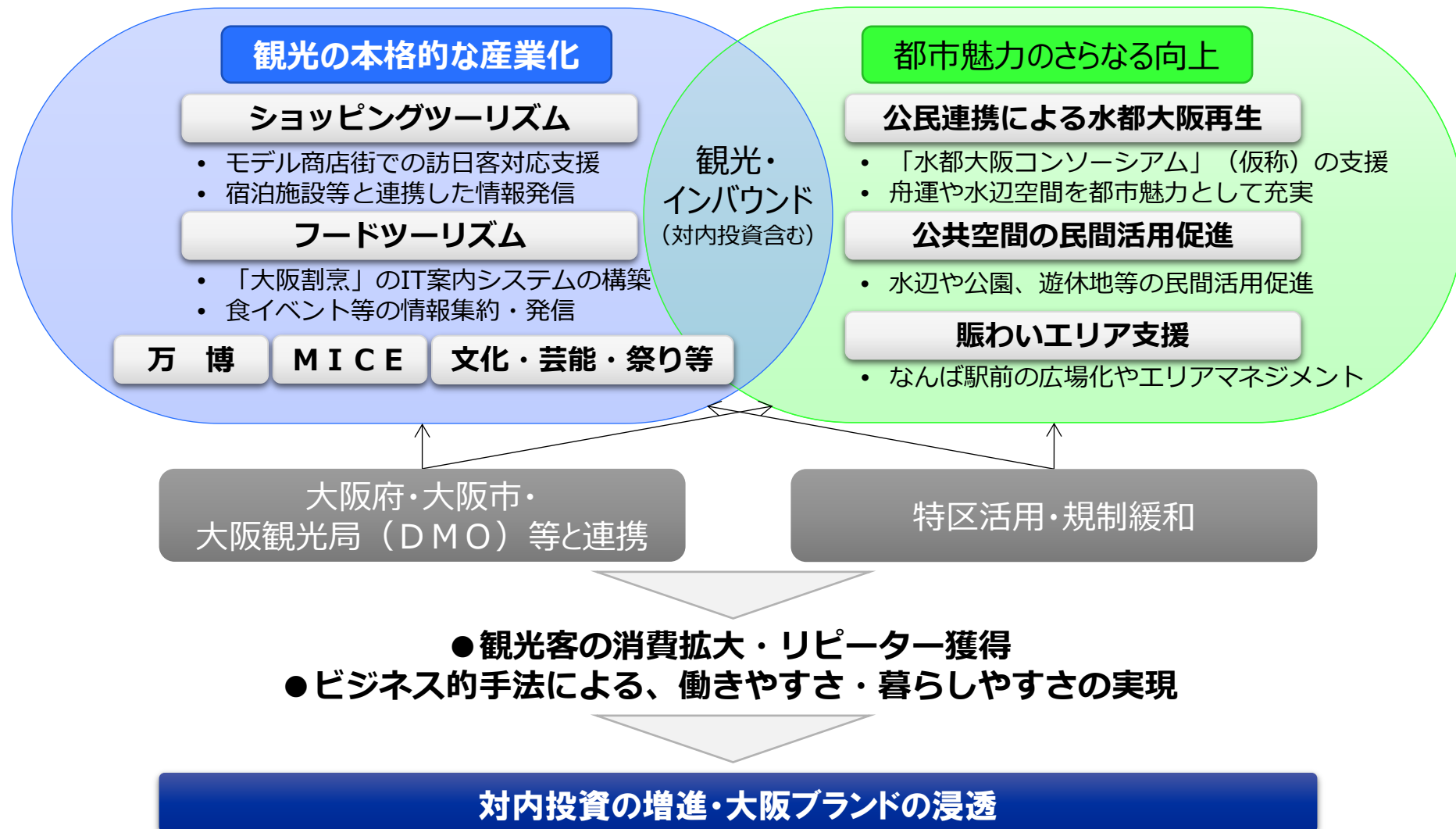
② スポーツ産業の 創出プロジェクト

～大学や企業の研究開発拠点を軸に、関連ビジネスを創出し、
ライフサイエンス産業とともに、新たなリーディング産業として振興～

- スポーツを核としたビジネス創出
 - ・ スポーツ×ものづくり・食・観光・サービス等、大学の研究成果や企業の開発ニーズを関心企業とマッチングするプラットフォームの設置
- 大学や企業の研究開発・事業化拠点の集積
 - ・ JISS-WESTや大学、関連企業等の研究開発・事業化拠点の集積をはかり、産業化を支援

戦略フィールド② インバウンド増進フィールド

- 観光の産業化、都市魅力の向上をはかり、観光消費や対内投資などインバウンドを増進
- 公共空間の民間活用などで、成長の舞台としての都市力を強化する



戦略フィールド② インバウンド増進フィールド

- 大阪観光局（DMO）と連携し、ショッピングツーリズムやフードツーリズムなどを推進し、観光消費の増大をはかる
- 2025年の万国博覧会も視野に、関西広域での連携をはかり、インバウンドの増進をめざす



③観光の本格的な 産業化プロジェクト

～大阪観光局（DMO）と連携した観光の産業化支援により、
リピーターの獲得、大阪ブランドの浸透を推進～

- 観光の産業化（観光で稼ぐ）の視点から、観光ビジネスへの新規参入支援など関連産業を振興
- ショッピングツーリズムの振興
 - ・モデル商店街での訪日客対応支援により、新たなショッピングエリアの拡大をめざす
- フードツーリズムの振興
 - ・「大阪割烹」をテーマにしたIT案内システムの構築・受け入れ環境整備、食イベント等の情報集約・発信

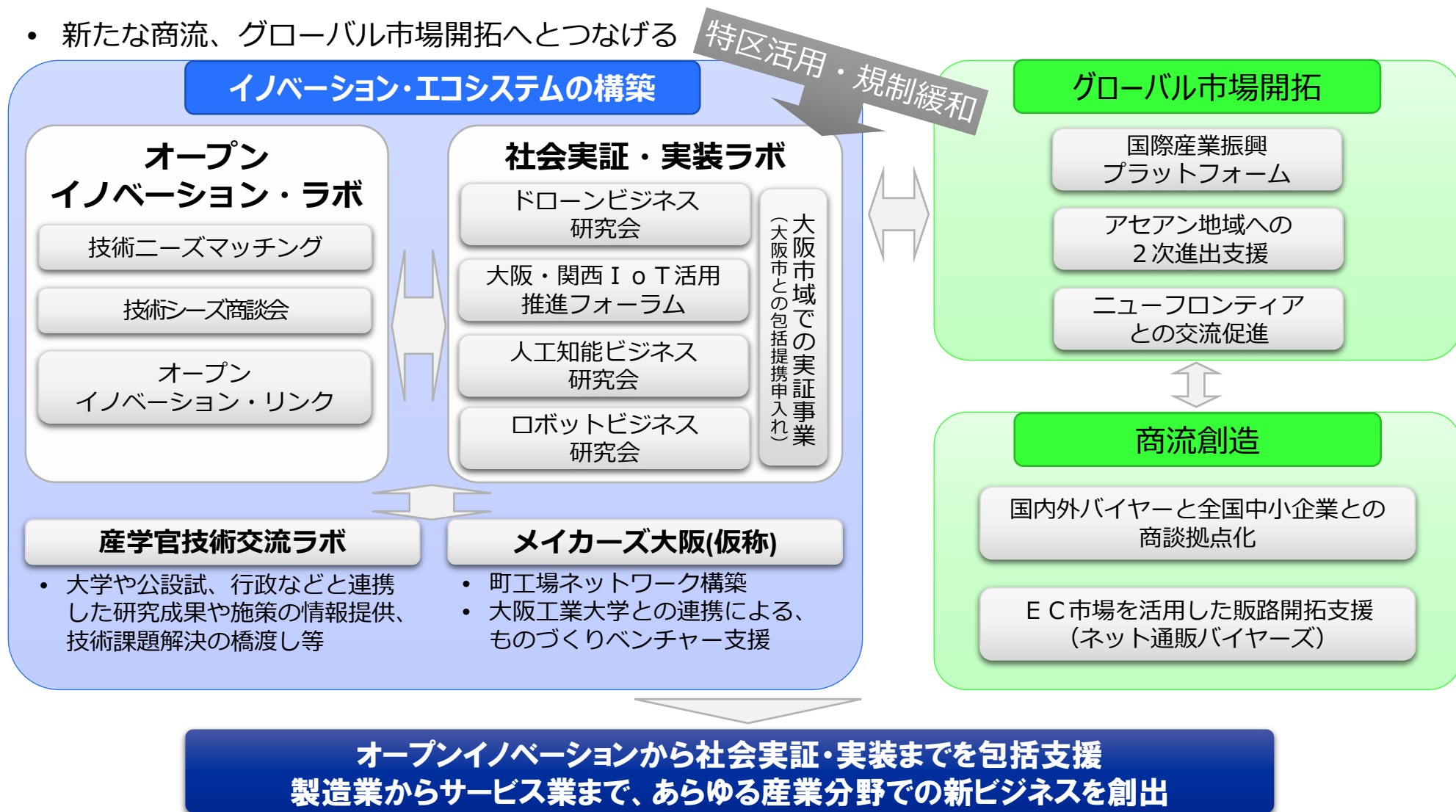
④都市魅力のさらなる 向上プロジェクト

～公共空間の民間による活用等、
ビジネス的手法により、都市魅力を向上～

- 公民連携による水都大阪再生
 - ・公民連携で新設する「水都大阪コンソーシアム」（仮称）を支援し、水辺空間を都市魅力の主要コンテンツとして充実
- 公共空間の民間による活用促進
 - ・都心部の水辺や公園、遊休地、遊休施設等、公共空間・公共施設等の民間活用を促進
- 賑わいエリア支援
 - ・なんば駅前の広場化やエリアマネジメント等でミナミエリアの活性化を支援、その他モデルエリアの発掘支援
- 遊休建築物の有効活用の検討
 - ・地域金融機関、ビルオーナー等をメンバーに、リノベーションビジネスを検討

戦略フィールド③ マーケット創出フィールド

- オープンイノベーションから社会実証・実装までを包括支援し、製造業からサービス業まで、あらゆる産業分野での新ビジネスを創出
- 新たな商流、グローバル市場開拓へとつなげる



戦略フィールド③ マーケット創出フィールド

- ものづくりベンチャーの拠点「メイカーズ大阪」(仮称)や町工場ネットワークとの連携、大阪市域での実証事業等、多様な仕組みを通じて、新ビジネスを創出、成長産業を振興
- 大阪・関西が強みを持つ、化学や機械、ファッション・アパレル等の製造業からサービス業まで、あらゆる産業分野で、新たな価値・ビジネス・商流を生み出す

イノベーション・エコシステムの構築

オープンイノベーション、
社会実証・実装等を通じた
新ビジネスの創出



グローバル市場開拓

先進有望分野でのビ
ジネス促進と、新た
なマーケット開拓



国際産業振興
プラットフォーム

アセアン地域への
2次進出支援

ニューフロンティア
との交流促進

商流創造

バイヤーと全国中小企業の
商談拠点化

買いませ！
売れ筋商品発掘市



E C市場を活用した販路開拓支援
(ネット通販バイヤーズ)

⑤イノベーション・エコシステムの構築プロジェクト

～オープンイノベーションから社会実証・実装までを包括支援し、
製造業からサービス業まで、あらゆる産業分野での新ビジネスを創出～

- オープンイノベーション・ラボ：技術・事業に関するニーズとシーズをマッチングする多様な機会を提供、ベンチャー等を支援
 - ・ザ・ビジネスモールを活用したオープンイノベーション・リンクの運営、リアルな商談会との連携
- 社会実証・実装ラボ：IoTや人工知能、ビッグデータ、ドローン、ロボティクスなど具体的なビジネスの社会実証・実装を支援
 - ・大阪市との包括提携（申入れ）により、大阪市域で先端産業分野の実証事業を推進
 - ・ドローンを活用したサービス創出、中小企業のIoT活用、人工知能を活用した実証事業等を実施
- メーカーズ大阪(仮称)：ものづくりベンチャーと町工場ネットワークの連携
 - ・大阪工業大学梅田キャンパスのロボティクス&デザインセンターを拠点に、ものづくりベンチャーの発掘・育成を支援
 - ・町工場ネットワークを構築、逆商談会を開催し受注機会を提供
- 産学官技術交流ラボ：大学、公設試験研究機関、行政等と連携し、研究成果や施策の情報提供、技術課題解決の橋渡し等

※イノベーション・エコシステム：生態系のように、それぞれのプレイヤーが相互に関与して、継続的にイノベーション創出を誘発するシステム

⑥グローバル市場開拓プロジェクト

～先進有望分野でのビジネス促進と、
新たなマーケット開拓で、国際産業振興を推進～

- 国際産業振興プラットフォーム：
 - シルバービジネス、水素・燃料電池等の先進分野で、海外ターゲットエリアとのビジネス促進
 - ・先進分野の集積エリアと連携した事業展開
 - ・アセアン地域への2次進出支援
- ニューフロンティアとの交流促進：ミャンマー、イスラエル、チリなど新たなフロンティア地域でのビジネス可能性を探る

⑦商流創造プロジェクト

～商談機会を拡充し、国内外と結ばれる商流拠点機能を強化～

- 大手流通業のバイヤーに、全国の中小企業が売り込む逆商談会の開催
- E C市場を活用した販路開拓支援（ネット通販バイヤーズの開催：越境E Cの検討含む）
- 海外バイヤーとの商談機会の拡充
- ファッションの情報発信機能の強化

戦略フィールド

⑧新戦カフロンティア人材 発掘プロジェクト

～新規学卒者・女性・外国人留学生など、次代を担う人材の活躍促進～
～人材確保のための働きやすい環境を整備～

- 新規学卒者、外国人留学生等の採用支援
 - ・オファー型求人サイトの本格実施や、大学と企業の橋渡し等を強化
- 女性活躍推進
 - ・企業連携による保育サービスネットワーク事業、大阪サクヤヒメ表彰 等
- 若手経営者・後継者育成
 - ・社長学・経営学の実践を学び、リーダーシップを培う

アクションプラン

① ライフサイエンス産業の深耕プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
1	創薬支援プラットフォームの運営 (創薬シーズ・基盤技術 アライアンスネットワーク : DSANJ) 創薬シーズ(製薬候補物質)・基盤技術(創薬に使われる技術)等に関心を持つ製薬企業と、技術を保有するバイオベンチャー、大学・研究機関のマッチング促進等を通じた創薬支援	- 国内外の大学、研究機関、バイオベンチャー等から大手製薬企業への創薬関連技術の提案をインターネット上で仲介する「創薬シーズ・基盤技術アライアンスネットワーク(DSANJ)」を運営する - 同マーケット上のデータを疾患別等にもとめ、面談マッチングを行なう疾患別商談会を開催するほか、アジア展開を推進する - 製薬企業が有する有望な研究シーズを外出しし開発を促進するカープアウトベンチャー組成や、大学発ベンチャー組成等を支援する - 複数企業による、創薬シーズ等の共同バリデーション(妥当性確認)を実施する	2017年度	- DSANJ疾患別商談会の東阪開催本格化 - 共同バリデーション事業試行 - カープアウトベンチャー組成による創薬支援 - 大学発ベンチャー組成による橋渡し支援	製薬企業、大学、研究機関、創薬ベンチャー、AMED、日本製薬工業協会、行政等	参加・利用企業数、商談件数、共同研究件数
			2018年度	- DSANJ疾患別商談会の東阪開催 - 民間主導の共同バリデーション事業実施 - カープアウトベンチャー組成による創薬支援 - 大学発ベンチャー組成による橋渡し支援		
			2019年度	取り組み継続		
2	医療機器ビジネス支援 プラットフォームの運営 (次世代医療システム産業化フォーラム : MDF) 医療機器分野の研究開発、国内外の市場での事業化を支援する仕組みの整備による多様な医療機器ビジネスの立ち上げ、新規参入促進等	- 医療現場のニーズをふまえ、企業に医療機器の共同開発提案を行なう「産学医・産産連携マッチング例会」を実施する - 事業化に向けた支援として、開発相談、開発製品を医療機器メーカー等へ売り込む逆見本市、医療機器開発人材や支援人材を育成するセミナー等を実施する - 大阪・関西発の革新的医療機器の創出に取り組む	2017年度	- 産学医・産産連携マッチング例会の充実 - 支援人材育成、支援機関ネットワーク化 - 革新的医療機器開発の主導	全国の医療機関、大学、医療機器メーカー、ベンチャー企業、大学・公設試験研究機関、経済産業省ほか関係省庁	参加・利用企業数、マッチング件数、事業化件数
			2018年度	- 取り組み継続 - 民間による事業化支援ビジネスの実施 - 革新的医療機器開発の主導		
			2019年度	- 取り組み継続 - 民間による事業化支援への移行 - 革新的医療機器の創出		

① ライフサイエンス産業の深耕プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
3	ヘルスケア産業の振興					
	機能性表示食品制度をはじめ、科学的エビデンスに基づくヘルスケア関連ビジネスの創出ならびに新規参入促進	- デジタルヘルス分野や健康分野などにおいて、エビデンスに基づく新たなビジネス創出事業を実施するとともに、実証・実装についても支援する - 機能性表示食品関連セミナーや個別相談会を開催する	2017年度	- 機能性表示食品関連セミナー、個別相談会の開催 - ヘルスケア産業関連セミナー等の開催	食品企業、ヘルスケア関連企業、大学、研究機関、ベンチャー企業、行政等	参加企業数、ビジネス創出支援件数
			2018年度	- 新ビジネス創出(実証・実装)に向けた、産学・産産連携マッチング事業の実施 - 取り組み継続		
			2019年度	取り組み拡充		
4	バイオリン構想の推進 “まちなか”イノベーション拠点形成					
	大阪の南北軸を中心としたライフサイエンス関連のイノベーション創出拠点の形成、関連機関の集積促進	- うめきた・中之島・健都など、大阪都心部に、ライフサイエンス関連産業・機関が集積する産業拠点を形成する - 民間企業等の遊休施設等を活用したレンタルラボ、レンタルオフィスの設置を促し、都心部における研究開発環境を整備する	2017年度	- 民間遊休施設候補の探索 - 遊休施設活用促進補助金等の創設要望	ベンチャー企業、大学、研究機関、行政等	拠点新設数 進出企業数
			2018年度	- 民間遊休施設候補の探索 - 遊休施設活用促進事例の発掘		
			2019年度	- 民間遊休施設でのレンタルラボ等の設置 - 入居企業等の誘致		

②スポーツ産業の創出プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
5	産・学・スポーツ界連携によるスポーツを核としたビジネス創出 スポーツを核に幅広い産業分野を組み合わせた新ビジネスの創出	- 大学や研究機関等によるスポーツ医科学、情報通信、新素材・新機能等の研究成果と、企業の開発ニーズをマッチングするプラットフォームを設置する - 産学連携、産産連携による共同研究や効果検証のほか、製品やサービスの開発、販路開拓などの事業化支援を行う - スポーツイベントや競技団体等と連携した製品やサービスの開発も支援する	2017年度	- スポーツビジネス啓蒙セミナーの開催 - 大学や研究機関等と企業とのマッチング - スポーツイベントや競技団体等との連携強化	大学、国立スポーツ科学センター(JISS)、スポーツ関係組織、企業等	セミナー等への参加企業数、マッチング数
			2018年度	取り組み継続		
			2019年度	取り組み継続		
6	スポーツ産業創出のための拠点集積 大学や企業等の研究開発拠点の集積による関連ビジネスの創出	- 国立スポーツ科学センター(JISS)のスポーツ医科学研究機能の西日本拠点(JISS-WEST)の誘致に取り組む - 大学や関連企業等の研究開発・事業化拠点の集積、およびそれらの連携ネットワーク整備をはかる	2017年度	- JISSとの連携強化 - 大学や企業の研究開発拠点との連携強化	大学、JISS、スポーツ関係組織、企業、関係省庁、地元自治体等	拠点新設数、拠点・ネットワーク活用企業数
			2018年度	- JISS-WEST誘致活動を実施 - 大学や企業の研究開発拠点の集積形成、ネットワーク化		
			2019年度	取り組み継続		

③観光の本格的な産業化プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
7	ショッピングツーリズムの振興	・店舗等でのインバウンド受入環境整備に向け、多言語ツール等必要なコンテンツを開発する ・インバウンド受入に関心のある商店街等をモデルに、訪日客に対応するための具体的な取り組みを支援する ・周辺の宿泊施設とのネットワークづくりを進め、情報発信力を強化する ・海外向けプロモーション等を支援する	2017年度	・ショッピングツーリズム普及検討会の組成 ・多言語ツールの作成	大阪市内商店街・商業施設、大阪観光局	ショッピングツーリズムに取り組む地域の数
	2018年度		・モデル商店街等での具体的な取り組み支援			
	2019年度		・海外への情報発信			
8	フードツーリズムの振興	・富裕層インバウンド向けに「大阪割烹」をキーワードコンテンツ化するため、店側の受け入れ環境整備、プロモーション、ICT活用による案内システム等を検討・実施する ・インバウンドに対して、「食の都・大阪レストランウィーク」の利用促進をはかる ・大阪・関西で開催されている食イベント等の情報を集約し、インバウンド向けにも発信する	2017年度	・「大阪割烹」をテーマにしたIT案内システム構築 ・「食の都・大阪レストランウィーク」のインバウンド向け発信	「食の都・大阪」推進会議	参加店舗数、利用人数
	2018年度		・取り組み継続 ・新規事業の着手			
	2019年度		・取り組み継続			
9	「食の都・大阪」の推進による関連産業の活性化	・プロの料理人コンテスト「食の都・大阪グランプリ」、同コンテスト入賞料理を一般に提供する「食の都・大阪レストランウィーク」を開催する ・歴代コンテスト入賞料理のアーカイブ化、「大阪産」の普及促進、海外プロモーション活動等、大阪の食ブランド向上に資する事業を実施する	2017年度	・「食の都・大阪」関連事業の推進 ・新規事業の研究・検討	「食の都・大阪」推進会議	グランプリ応募数、参加店数
	2018年度		・既存事業の取り組み継続 ・新規事業の着手			
	2019年度		・取り組み継続			

③観光の本格的な産業化プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
10	観光ビジネスの高度化支援 観光ビジネスへの新規参入支援、関連産業振興	- 観光ビジネスへの新規参入や高付加価値化を促進するため、大阪観光局(DMO)等と連携し、先進事例や課題解決策等を紹介するセミナー等を開催する - 観光ビジネスに関する課題を調査し、必要に応じて提言や要望を行う	2017年度	- 各種セミナーの開催 - 課題調査、提言要望等の実施	大阪観光局、大阪府、大阪市、観光事業者	セミナー参加企業数
			2018年度	取り組み継続		
			2019年度	取り組み継続		
11	大阪MICE戦略の推進 インバウンドの拡大と経済波及効果を高めるためのMICE誘致	大阪観光局(DMO)が組織するMICE誘致連携組織に参画し、活動強化に協力する	2017年度	MICE誘致連携組織等における情報収集	関係省庁、地元自治体、企業、大阪観光局、地域経済団体	MICE誘致活動に関して協力した取り組み数
			2018年度	効果的なMICE誘致に関する取り組みへの協力		
			2019年度	取り組み継続		
12	大阪観光局(DMO)等との連携による観光振興事業の実施 大阪観光局(DMO)や自治体等と連携した効果的な観光振興	- 大阪観光局(DMO)と連携し、インバウンドの受入環境整備や大阪城の魅力向上等に取り組む - 各種団体と連携し、伝統芸能や近代建築、水辺等、地域資源を活用した観光振興事業を実施する - 百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録に向けた機運醸成、クルーズ客船誘致等に協力する	2017年度	各組織との連携活動の実施	大阪観光局、大阪府、大阪市、地域の伝統芸能・歴史遺産関連組織等	各取り組みの参加者数、広報実績
			2018年度	取り組み継続		
			2019年度	取り組み継続		

④都市魅力のさらなる向上プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
13	公民連携による水都大阪再生 舟運の活性化や魅力的な水辺空間の形成による水と光を軸とした都市魅力向上	- 水と光のまちづくり推進会議の会長団体として、事業執行機関である「水都大阪コンソーシアム」(仮称)を新たに立ち上げ、強力に支援することで、公民一体となった水都大阪事業を推進する - 大阪・光の饗宴実行委員会の活動を軸に、光による都市魅力の向上に取り組む	2017年度	・「水都大阪コンソーシアム」(仮称)の立ち上げ	水都大阪コンソーシアム(仮称)、大阪府、大阪市、大阪観光局、舟運会社	舟運ツアー実施数、インバウンド向けツアー実施数、広報実績
			2018年度	- 水都大阪に参画する企業・団体のネットワーク強化 - 観光メニューの造成 - 水都大阪ブランド確立に向けた各種事業の実施		
			2019年度	・取り組み継続		
14	公共空間の民間による活用促進 国や自治体が管理する公共空間や施設等の活用を通じたまちの賑わいづくり・活性化	- 河川空間や公園等公共空間の、民間による新たな活用方法の調査や紹介等を行う - 遊休地、遊休施設等の実態及び活用ニーズ等を調査する - 必要に応じて要望・提言を行う - 空間利用に関する公民のマッチングを実施する	2017年度	・公共空間活用事例や活用ニーズ等の調査	関係省庁、大阪府、大阪市、指定管理企業・団体	パブリックスペース活用事例数
			2018年度	・公共空間活用に関するセミナー等の開催		
			2019年度	・公民マッチング事業の実施		
15	賑わいエリア支援事業の実施 インバウンド拠点の整備等による大阪全体の集客力強化	- なんば駅前広場の広場化実現に向けた取り組みを推進する - エリアマネジメント組織の立ち上げに向けた研究を行う - 新たな支援エリアを発掘し、地域団体等と連携し、必要な活性化方策を検討・実施する	2017年度	- なんば駅前広場の整備について検討 - 新たな支援エリアの発掘	大阪市、なんば駅前広場空間利用検討会、道修町まちづくり協議会	
			2018年度	・取り組み継続		
			2019年度	・なんば駅前広場のハード工事着手（見込み）		

④都市魅力のさらなる向上プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
16	シビックプライド醸成事業の実施	・「なにわなんでも大阪検定」を実施する ・試験内容の改良や制度変更等を行い、受験者の獲得に結びつける ・鉄道事業者やマスコミ等と連携し、効果的な広報PRを展開することで、知名度を一層向上させる	2017年度	・試験内容・制度の変更 ・効果的な広報PRの実施 ・10回目に向けた企画作成	大阪府、大阪市	大阪検定受験者数
	2018年度		・10回目試験の実施 ・11回目以降の実施内容の決定			
	2019年度		・11回目試験の実施			
17	遊休建築物の有効活用の検討	・地域金融機関、中小ビルオーナーなどとともに、リノベーションビジネスのスキームや手法等を検討する ・リノベーションにより、ニーズの高い用途に活用された先進事例や、具体的な課題解決策を紹介するセミナー等を開催する	2017年度	・関連事業者によるワーキンググループの設置、リノベーションビジネスの検討 ・リノベーション活用事例紹介セミナーの開催	遊休不動産を所有する企業、金融機関、コンサルタント、自治体	ワーキンググループ／セミナー参加企業数、リノベーション検討数・事業化数
	2018年度		・取り組み継続			
	2019年度		・取り組み継続			
18	安全安心のまちづくり事業の実施	・都市イメージの低下につながる様々なまちの課題(ひったくり等の犯罪、自転車問題、キャッチセールス、落書き、ポイ捨て等)の解決に向け、行政、地域団体、企業等と連携して対応する ・同課題解決に向けた要望や提言を行うとともに具体的な解決策等を研究・啓発する	2017年度	・ミナミ活性化協議会の活動推進 ・課題を抱えるエリアの調査	関係省庁、大阪府、大阪市、大阪府警察本部、ミナミ活性化協議会	違法駐輪数、自転車事故件数
	2018年度		・ミナミ活性化協議会の活動推進 ・課題解決に向けた取り組みの実施			
	2019年度		・取り組み継続			
	大阪の魅力発掘を通じた郷土愛や誇りの醸成による都市魅力の向上					
	リノベーションによる遊休建築物の活用推進					
	住みやすく働きやすいまちの基盤となる安全安心のまちづくりの推進					

⑤イノベーション・エコシステムの構築プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
19	オープンイノベーション・ラボの運営 技術・事業のニーズとシーズの多様なマッチングを通じたオープンイノベーションの推進による新技術・製品開発、新ビジネス創出の支援	- 大企業の技術ニーズを中小企業につなぎ新技術・新製品の開発を支援する「技術ニーズマッチング」、大企業の技術シーズを関心企業につなぎ新ビジネスの創出を支援する「技術シーズ商談会」を実施する - 商取引支援サイト「ザ・ビジネスモール」上で、大手製造業のニーズ案件と中小企業からの課題解決提案をマッチングし、オープンイノベーションを促進する新たなサービス「オープンイノベーション・リンク」を実施する	2017年度	「技術ニーズマッチング」の実施 「技術シーズ商談会」の実施スキーム構築 「オープンイノベーション・リンク」の開設	大阪府、(株)ナインシグマ・ジャパン等	参加・利用企業数、マッチング件数
			2018年度	「技術ニーズマッチング」「技術シーズ商談会」「オープンイノベーション・リンク」の拡充		
			2019年度	取り組み継続		
20	産学官技術交流ラボの運営 大学や支援機関等との連携強化による新ビジネスの創出、成長産業の振興	大学、公設試験研究機関、行政、産業支援機関との連携を強化し、研究成果(技術シーズ)発表会の開催、技術相談や共同研究、委託研究等の橋渡し、各種事業・施策・法令・制度の情報提供等を行う	2017年度	- 研究成果(技術シーズ)発表会の開催 - 当該プロジェクトで展開する各種事業の情報提供や技術相談受付等を行うウェブサイトの構築、メール配信 - 連携機関の拡充	大学、公設試験研究機関、行政、産業支援機関等	参加・利用企業数、マッチング件数
			2018年度	取り組み継続		
			2019年度	取り組み継続		

⑤イノベーション・エコシステムの構築プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
21	IoTや人工知能、ビッグデータ等を活用した、新ビジネスの創出に向けた情報提供から社会実証・実装までの包括的な支援	- IoTや人工知能等の技術を多層的に使うドローンのビジネス活用を促進する「ドローンビジネス研究会」、中小企業におけるIoTの活用を促進する「大阪・関西IoT活用推進フォーラム」、人工知能の普及を促進する「人工知能ビジネス研究会」、ロボット技術の開発と利用ニーズをマッチングする「ロボットビジネス研究会」等を実施する - 大阪市域での実証実験を推進するため、大阪市との包括提携を行う	2017年度	- 各研究会等の運営 - 大阪市との連携協定締結 - 実証実験等の実施	経済産業省、産業技術総合研究所、大阪府、大阪市等	
			2018年度	- 取り組み継続 - ビジネス創出につながる新たなテーマ別研究会等の組成		
			2019年度	取り組み継続		
21 (1)	ドローンビジネス研究会の運営 ものづくり企業の集積を活用したドローンの開発・製造、新ビジネス創出	ドローンを活用した新ビジネスの創出に向け、事業提案等を通じたビジネスマッチング、事業者連携を促すワーキンググループの組成、行政機関等と連携した実証事業等に取り組む	2017年度	- 実証事業ニーズマッチングの実施 - 実証事業開始 - ドローン操縦者養成スクールの実施	(株)自律制御システム研究所、ミニサーバイヤーコンソーシアム	参加・利用企業数、マッチング件数
			2018年度	取り組み継続		
			2019年度	取り組み継続		
21 (2)	大阪・関西IoT活用推進フォーラムの運営 中小企業におけるIoTの活用促進	- 中小企業におけるIoTの活用を推進するため、施策や先進事例、活用できるツール等に関して情報提供する例会を開催。例会参加者を対象に、IoTの導入支援希望を募り、本会議所が育成するカイゼン指導者(スマートものづくり応援隊)を活用した個別相談・コンサルティングを実施する - 行政のIoT推進ラボ等と連携して、中小企業におけるIoT活用のモデル事業を創出する	2017年度	- 大阪府・大阪市のIoT推進ラボと連携したスキームを構築し、例会を開催 - 国のIoT推進ラボ(予算措置、規制緩和)、スマートものづくり応援隊(伴走支援)等を活用し、例会で提案のあったモデル事業の実現を支援	国や大阪市のIoT推進ラボ、大阪府、アジア太平洋研究所	参加・利用企業数
			2018年度	取り組み継続		
			2019年度	取り組み継続		

⑤イノベーション・エコシステムの構築プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
21 (3)	人工知能ビジネス研究会の運営	産業技術総合研究所、大学等と連携して、関心企業による研究会を運営し、人工知能のビジネス活用を促進する	2017年度	産業技術総合研究所が設置する人工知能技術コンソーシアム関西支部の運営、実証・実装のワーキンググループの運営 大阪大学と企業の連携支援	産業技術総合研究所、大阪大学	参加・利用企業数
	2018年度		取り組み継続			
	2019年度		取り組み継続			
21 (4)	ロボットビジネス研究会の運営	ロボット技術の最新情報を提供し、ロボット技術の開発・利用ニーズを開拓する 作り手(開発企業)と使い手(活用企業)とのマッチングを行い、中小企業のロボット開発プロジェクトの立ち上げを支援する	2017年度	関心企業の発掘 モデルプロジェクトの実施(試作品開発、実証実験)	近畿経済産業局	参加企業数、プロジェクト立ち上げ件数
	2018年度		ロボットの使い手と作り手の個別マッチング、プロジェクトチームの組成支援 モデルプロジェクトの実施(試作品開発、実証実験)			
	2019年度		個別ロボットの製品設計・試作品開発・実証実験、販路開拓、国の施策利用等の支援			
21 (5)	大阪市域における実証事業の促進	大阪市と包括提携を締結(申入れ)し、市域で先端産業分野の実証事業を希望する企業の申請・相談を受け付け、市有施設・市有地での実証事業を支援する	2017年度	大阪市との包括提携締結 実証事業の受付スキームの整備 実証事業希望企業の募集 規制緩和の要望	大阪市	実証事業実施件数、行政データ活用件数、実証事業希望企業数
	2018年度		取り組み継続			
	2019年度		取り組み継続			
	先端産業分野における「実証事業都市・大阪」の地位確立を通じた企業誘致の促進、経済活性化					

⑤イノベーション・エコシステムの構築プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
22	メイカーズ大阪(仮称)の推進	・ビジネスアイデアの実現をめざすベンチャー企業等の「メイカーズ」を支援する ・各支部を中心に町工場ネットワークを構築するとともに、逆商談会等を開催する ・メイカーズと町工場ネットワークをつなぎ、中小製造業を支援する	2017年度	・取り組み内容の検討	大阪工業大学等	
	2018年度		・具体的事業の実施			
	2019年度		・取り組み継続			
22 (1)	「メイカーズ」の支援拠点整備・運営	・大阪工業大学梅田キャンパスロボティクス&デザインセンター等と連携し、ビジネスアイデアの実現をめざすベンチャー企業等の「メイカーズ」を支援する拠点を開設・運営する	2017年度	・大阪工業大学等との連携協定締結 ・具体的な取り組み内容の検討	大阪工業大学	利用企業数
	2018年度		・「メイカーズ」の支援拠点の開設			
	2019年度		・取り組み継続			
22 (2)	町工場ネットワークの構築	・各支部での交流事業を通じて、技術や設備等の情報を共有する町工場ネットワークを構築するとともに、逆商談会等を開催して新規受注に取り組む ・メイカーズと町工場ネットワークをつなぎ、中小製造業を支援する	2017年度	・各支部での交流会の開催	大阪市工業会連合、各区工業会、業界組合	ネットワーク登録企業数、新規取引件数
	2018年度		・町工場データベースの整備			
	2019年度		・町工場ネットワークの稼働 ・逆商談会の開催			
	大学や町工場ネットワーク等との連携によるものづくりベンチャーの発掘・育成支援、オープンイノベーションを通じた新たなビジネス創出					
	ものづくりベンチャーの発掘・育成支援					
	大阪の金属加工・機械製造業の地域ブランド向上と受注拡大					

⑥グローバル市場開拓プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
23	海外シルバー産業展開支援事業の実施 アジアで顕在化する高齢化関連需要の取り込みによるシルバー産業の振興	- 日本ーアジア・シルバー産業連携促進プラットフォームを運営し、海外ミッションや交流会等を通じて、国内外企業のマッチングを実施する - 今後、介護・ヘルスケア分野のマーケットの成長が見込まれる地域への視察や情報交換を行い、連携の可能性を探る	2017年度	- 国内外企業の交流事業の実施 - 海外視察ミッションの派遣 - 情報発信等によるビジネスマッチング - マーケット成長地域との情報交換	介護ビジネス支援機関	プラットフォーム登録企業数、マッチング件数
			2018年度	取り組み継続		
			2019年度	取り組み継続		
24	水素・燃料電池産業の海外展開支援 水素・燃料電池分野で強みを持つ大阪・関西企業の海外市場開拓支援	- 海外展開に関心を持つ企業が登録するプラットフォームを設置し、海外ミッション派遣、海外展示会への参加等を行う - セミナーや交流会等を通じて、欧米企業等の情報提供を行う	2017年度	- 海外展開プラットフォームの設置 - 海外視察ミッションの派遣、展示会出展 - セミナーや交流会等の開催	大阪府、近畿経済産業局、各国大使館・領事館・通商事務所等	プラットフォーム登録企業数、マッチング件数
			2018年度	取り組み継続		
			2019年度	取り組み継続		
25	アセアン地域への2次進出支援 在阪企業のアセアン域内への2次進出支援による新たなサプライチェーンの構築	- 海外進出企業が、進出先を増やす2次進出に関する情報提供やマッチングを行うプラットフォームを設置する 2次進出の先進事例や人材育成ノウハウ等を学ぶ勉強会を行うとともに、2次進出に関心国へ実務ミッションを派遣する - 現地商工会議所や金融機関等と連携し、2次進出を支援する	2017年度	2次進出プラットフォームの設置 - 人材育成支援、ビジネスマッチング、視察会、交流会、セミナーの開催	現地商工会議所、政府系機関、カシコン銀行等提携機関等	プラットフォーム登録企業数、マッチング件数、日本語人材の受け入れ先開拓数
			2018年度	取り組み継続		
			2019年度	取り組み継続		
26	欧米のイノベーション創出地域との交流 海外のイノベーション創出先進地域との交流を通じた、在阪企業の海外販路開拓支援、共同研究開発促進	- 英国テムズバレーや米国西海岸等、欧米のイノベーション創出先進地域と、AI、IoT、環境、コンテンツ等の分野における交流を深める - イノベーションを促す支援サービスの先進的手法を研究する	2017年度	交流地域の検討と交流プラットフォームの立ち上げ	提携先商工会議所、現地政府機関、JETRO	プラットフォーム登録企業数、マッチング件数
			2018年度	具体的な交流事業の実施		
			2019年度	取り組み継続		

⑥グローバル市場開拓プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
27	海外の未開拓市場の現地調査、パートナー探し、現地でのビジネス人材の育成支援による新市場の開拓	・ミャンマー、イスラエル、チリ、アフリカ等の未開拓市場への進出に向け、ミッション派遣や受け入れ、セミナーの開催等により、日本企業の現地での販売、輸出入等を支援する	2017年度	・新市場開拓に関するセミナーの開催 ・ミッションの派遣	JETRO、JICA、UNIDO、各国大使館・名誉総領事館・経済事務所	ミッション参加人数、セミナー参加者数
			2018年度	・取り組み継続		
			2019年度	・取り組み継続		
28	TPP活用による輸出力強化 TPP加盟予定国のバイヤーを招聘した商談会等による中小企業の輸出振興	・政府が主導する「新輸出大国コンソーシアム」に協力しセミナーや企業紹介を行う ・TPP加盟予定国からバイヤーを招聘し商談会等を開催する ・外国人モニターを利用した、日本製品のカスタマイズ化を支援する ・輸出関連手続きの簡便化、利便性向上(書類の作成、発給など)を支援する	2017年度	・セミナーの開催 ・海外バイヤーを招聘した商談会の開催 ・モニタリング会の開催	JETRO、大阪府、大阪市、関係各国大使館・領事館等	セミナー参加者数、商談会参加者数
			2018年度	・取り組み継続		
			2019年度	・取り組み継続		
29	大阪のプロモーションおよび外資誘致 外国企業の大阪への立地促進、新たな技術・ノウハウの導入を通じた大阪経済の活性化	・国内外におけるプロモーションを通じて、大阪立地の優位性や、「多様な企業が活躍するグローバル都市」という大阪の魅力を発信する ・大阪外国企業誘致センター(O-BIC)において、大阪が強みを持つ、ライフサイエンス分野等を中心に、国内外で誘致に向けたプロモーション活動(セミナー、展示会出展等)を行う	2017年度	・国内外における大阪プロモーション実施 ・セミナーの開催 ・展示会への出展	大阪府、大阪市、JETRO、近畿経済産業局	外資系企業等誘致件数
			2018年度	・取り組み継続		
			2019年度	・取り組み継続		
30	中国・新興国ビジネス相談の実施 海外ビジネスの入り口やトラブル等に関する個別相談への対応	・中国やASEAN等とのビジネスに取り組む中堅・中小企業に対し、個別相談や、専門家・専門機関の紹介等、幅広いサポートを提供する	2017年度	・個別相談の実施(中国ビジネス支援室＋専門家による個別無料相談会)	関係弁護士、税理士、コンサルタント	相談件数
			2018年度	・取り組み継続		
			2019年度	・取り組み継続		

⑦商流創造プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
31	買いまっせ！売れ筋商品発掘市の開催 中小企業に対する販路開拓の機会、大手流通企業に対する新たな仕入先・商品発掘機会の提供	- 大手流通業のバイヤーが「買い手」としてブースを構え、そこに全国の中小企業が売り込みをかける日本最大級の逆商談会「買いまっせ！売れ筋商品発掘市」を開催する - 海外企業（日本進出企業含む）との商談機会を拡充する - ウェブサイト「買いまっせ！モール」の併設によるサービスの充実、日本政策金融公庫等全国レベルの金融機関との連携強化等に取り組む	2017年度	「買いまっせ！売れ筋商品発掘市」の開催 - 海外企業の参加拡大 - 金融機関との連携を検討	大手流通業、近畿百貨店協会	商談数、成約（見込）数、売り手・買い手の満足度
			2018年度	- 取り組み継続 - 海外企業との商談会の単独開催		
			2019年度	取り組み継続		
32	ザ・ベストバイヤーズとライセンス・フェアの開催 大手流通業と中小企業の質の高い商談の場のタイムリーな提供	- 成長著しい企業のバイヤーを毎回1社招き、中小企業に対し、取引ルール等に関するセミナーと商談会を開催する - ライセンスビジネスに関する商談会を開催し、大手企業と中小企業とのアライアンス拡大をはかる - 中堅規模の流通業者をバイヤーに迎えた商談会を企画・開催する	2017年度	- ザ・ベストバイヤーズ、ザ・ライセンスフェアの開催 - 中小バイヤーとの商談会の開催	大手流通業	商談数、成約（見込）数、売り手・買い手の満足度
			2018年度	取り組み継続		
			2019年度	取り組み継続		
33	EC市場を活用した販路開拓支援（ネット通販バイヤーズの実施） EC市場を活用した中小企業の販路開拓支援	- インターネット通販を行っている（越境EC事業者含む）大手流通業との商談会を開催する - ECサイト運営事業者や、インターネットショッピングモール出店サポート事業者によるセミナーや個別相談会を開催する - 中小事業者の成功事例セミナーを開催する	2017年度	個別商談会、セミナーの開催	国内外のEC関係流通業	商談数、売り手・買い手の満足度
			2018年度	- 取り組み継続 - モール出展サポート事業者との個別相談会の実施		
			2019年度	取り組み継続		
34	ICT活用による流通業の経営合理化、販路創造等の支援 ICT、モバイル端末等を活用した流通業の生産性向上	- 流通業を対象に、ICTを活用したコスト削減など経営合理化方策の検討、先進事例紹介等に取り組む - 越境ECなど、ICT、モバイル等を活用した新たな販路創造事業、実証実験等を検討する	2017年度	研究会等の設置、検討	IT企業、卸売業界団体等	参加企業数
			2018年度	セミナー・シンポジウム等の開催		
			2019年度	先進事例の開拓、実証実験の可能性の調査、研究		

⑧新戦力フロンティア人材発掘プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
35	新規学卒者の採用支援 企業活力の増進に不可欠な次世代人材の採用支援	- 新規学卒者採用に意欲のある中小企業を対象に、大学とのネットワークを構築する交流会を開催する - 企業から学生に直接オファーが出せる求人サイト「OfferBox」を介した新規学卒者の採用を支援する - 経営者や人事担当者を対象とした人材確保成功事例発表会や、採用力向上を目指す勉強会等を開催する	2017年度	- 会員企業と大学(キャリアセンター)との交流会の開催 - オファー型求人サイトの活用呼びかけ - 採用力向上セミナー・勉強会等の開催	大阪労働局、大阪府、大阪府、大阪労働協会、(株)i-plug、関西学生就職指導研究会、大学コンソーシアム	本会議所会員の「OfferBox」利用企業数・採用実績、キャリアセンターとの交流会に参加する企業数、セミナー、勉強会の参加者数
			2018年度	取り組み継続		
			2019年度	取り組み継続		
36	女性活躍の推進 企業における女性活躍の、裾野の拡大、厚みの形成、頂の引き上げ	①OSAKA女性活躍推進会議や大阪市女性きらめき応援会議等と連携し、女性活躍推進フォーラムを開催する ②女性の人材確保や継続就労支援のため、複数企業による企業内保育所の運営等「保育サービス・ネットワーク」を構築し、適宜マッチングを実施する ③「大阪サカヤヒメ表彰」を通じて、女性管理職のロールモデル輩出、ネットワーク構築を促進する。また女性育成リーダー塾を開催する	2017年度	①他団体と連携したフォーラムの開催 ②保育サービスネットワークの構築、関連企業とのマッチング(共同利用・運営受託) ③サカヤヒメ表彰、交流勉強会や女性育成リーダー塾の開催	内閣府、厚生労働省、大阪府、大阪府、21世紀職業財団	フォーラム等への参加者数、保育サービス・ネットワークのマッチング件数、リーダー塾参加者数
			2018年度	取り組み継続		
			2019年度	取り組み継続		

⑧新戦力フロンティア人材発掘プロジェクト

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先	アクション指標
37	外国人留学生の採用支援		2017年度	- 企業向けセミナー、交流会の開催 - インターンシップの実施 - 合同説明会の開催	大阪労働局、近畿経済産業局、大阪府、大阪市、大阪労働協会、CARE S-Osaka、大学、大阪府専修学校各種学校連合会	インターンシップ、合同企業説明会の参加企業数、参加留学生数
	外国人留学生の採用支援を通じた人材の確保と企業のグローバル化促進	- 外国人留学生採用に関する先進事例や採用手法等を紹介するセミナー等、情報提供事業を行う - 大阪の主要大学と連携し、企業と外国人留学生との交流会、インターンシップ、合同企業説明会を開催する	2018年度	取り組み継続		
			2019年度	取り組み継続		
38	若手経営者・後継者の育成		2017年度	- 課題やニーズを調査し、若手経営者・後継者塾の制度設計 - 次世代経営者フォーラムの開催	本会議所役員・議員企業	参加者数(塾、フォーラム等)、参加者の満足度
	中堅企業の後継者や若手経営者など次代の大阪を担うリーダーの養成	- 中堅企業の後継者や若手経営者を対象に、ベテラン経営者や専門家から具体的な事例をもとに経営戦略を学び、経営の質と経営者の資質を磨く塾を開催する - 広く関心者を募るフォーラム等も開催する	2018年度	若手経営者・後継者塾の実施		
			2019年度	取り組み継続		

基盤強化：ビジネス拡大

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先
39	商店街の振興・活性化と個店の集客力の強化	「個店振興」に焦点を絞った商店街活性化事業として、「100円商店街」「バル」「まちゼミ」等を支援する - ICTを活用した販路開拓のノウハウを普及させる - 子育て世代・若者の集客を目指した先進事例や関連情報等を提供する	2017年度	・近隣商店街同士のネットワークづくり	大阪市商店会総連盟等
			2018年度	・ICTを活用した集客事例集の作成・普及 ・新規事業の企画・検討	
			2019年度	・新規事業のノウハウ提供、実践の支援	
40	大阪勧業展の開催 中小企業の販路開拓・拡大	- 大阪府内の中小企業等が商品・サービス等の販路を開拓する多業種型総合展示商談会「大阪勧業展」を開催し、大阪府内の企業間のビジネスマッチングを行う - 出展者の増加など、質的量的改善をはかる	2017年度	・「大阪勧業展」の開催	大阪府内の商工会議所・商工会、大阪府商工会連合会
			2018年度	・取り組み継続	
			2019年度	・取り組み継続	
41	大阪スタイリングエキスポの開催 繊維・ファッション・リビング関連業界の活性化とデザインの振興	- 在阪アパレルによるファッション・ショーを基軸とした複合イベントと、デザイン性に優れたリビング用品の百貨店催事に合わせた即売事業からなる「OSAKA STYLING EXPO」を開催する - リビング用品に加え、ファッション用品についても百貨店での即売事業化をはかる - ファッション・イベントの実施方法について、適宜見直しをはかる	2017年度	・「OSAKA STYLING EXPO」の開催	大阪デザインセンター、関西ファッション連合、大阪ニットファッション協同組合等
			2018年度	・取り組み継続 ・メインイベントのあり方見直し	
			2019年度	・取り組み継続 ・新メインイベントの実施	
42	繊維・ファッション産業 海外販路拡大に向けた支援 アジアをはじめ海外への繊維・ファッション産業の輸出促進策等に関する研究ならびに支援事業の企画	- 繊維・ファッション産業製品(原糸、テキスタイル、アパレル製品、産業資材等)の海外への販路拡大に向け、課題抽出や対応等を検討する - JETROと連携し、欧米向けテキスタイル輸出商談会等を開催する	2017年度	・実態調査と課題抽出 ・JETRO事業との連携協力による販路拡大事業の実施	JETRO等
			2018年度	・海外販路拡大事業の企画立案 ・取り組み継続	
			2019年度	・取り組み継続	

基盤強化：ビジネス拡大

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先
43	ザ・ビジネスモールを活用した 商談機会の創出	・全国の商工会議所・商工会と連携し、会員企業の 企業情報やPR情報、商談案件をインターネット上 で公開する商取引支援サイト「ザ・ビジネスモール」を 運営する ・商談情報を公開する「ザ・商談モール」のさらなる拡 充に向け、大手製造業や流通業の参加を促し、中 小企業との商談機会を増やす ・製造業に特化した企業データベース「BMファクト リー」を構築し、一層質の高い商談につなげる	2017 年度	・大手流通業、大手製造業の参加募集 ・製造業データベースの拡充、製造業向け商 談サイト「BMファクトリー」の本格稼働	全国の商工会議所・商 工会
	2018 年度		・大手流通業、大手製造業参加型「商談」シ ステムの提供開始(試験稼働)		
	2019 年度		・大手流通業、大手製造業参加型「商談」シ ステムの提供開始(本格稼働)		
44	ビジネス交流会・異業種交流会の開催	・会員交流大会、在阪支社長・支店長と大阪商工 会議所役員・議員との懇談会を開催する ・会員同士の多様な交流を支援する小規模交流会 「ふらっと」を開催する ・複数支部共催による経済講演会、ビジネス交流会 等を積極的に開催し、交流エリアの拡大につとめる	2017 年度	・会員交流大会、在阪支店長と大商役員懇 談会、小規模交流会「ふらっと」の開催 ・複数の支部が連携した拡大ビジネス交流会 の開催	大阪府
	2018 年度		・取り組み継続		
	2019 年度		・取り組み継続		
45	ICTを活用した新規事業の開発支援	・ICT活用ビジネスモデル研究会を開催する ・ICT活用ビジネス成功事例の紹介、ICTビジネスモ デルの企画・検討、新ビジネス開発企業とIT企業と のマッチング等の支援を行う	2017 年度	・研究会の開催	
	2018 年度		・成功事例研究 ・新ビジネス開発企業とIT企業とのマッチングを 支援		
	2019 年度		・新規事業の開発支援		
46	地域資源を発掘・活用した「プレミアム 地域ブランド」の開発・向上支援	・各支部内の産業資源(企業、業界、製品、商店街 等)と文化・観光資源を特定し、「プレミアム地域ブラ ンド」として開発、情報発信を行う	2017 年度	・プレミアム地域ブランドの選定・継続実施	大阪府
	2018 年度		・取り組み継続		
	2019 年度		・取り組み継続		
	地域資源の発掘、情報発信による取引先拡大、内外観光客の誘致				

基盤強化：人材確保・育成

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先
47	大阪商工会議所企画検定の実施	【メンタルヘルス・マネジメント検定試験】 ・職場内での役割(人事部門・管理職・一般社員)に応じて必要なメンタルヘルスに関する知識や対処方法を習得するための検定試験を実施する	2017年度	・大阪商工会議所企画検定試験の施行 ・関連セミナーの開催	各地商工会議所
	検定試験の企画・施行、関連セミナーの実施、テキストの出版を通じた人材の育成と、企業の活力増進	【ビジネス会計検定試験】 ・ビジネスパーソンに必要な、財務諸表に関する知識や企業の状況を把握するための分析力を習得する検定試験を実施する	2018年度	・取り組み継続	
			2019年度	・取り組み継続	
48	東京商工会議所・日本商工会議所検定試験の実施	・東京商工会議所が運営する検定試験やセミナーを実施する ・日本商工会議所が運営する検定試験やセミナーを実施する	2017年度	・東京商工会議所検定試験の施行 ・日本商工会議所検定試験の施行 ・関連セミナーの実施	東京商工会議所、日本商工会議所
	2018年度		・取り組み継続		
	2019年度		・取り組み継続		
49	大阪企業家ミュージアムを活用した人材の育成	・「展示事業(常設展示・特別展示)」「人材開発事業(セミナー・講座・出前授業)」の2本柱を中心に、大阪の企業家精神の伝承、次代を担う人材育成事業を進める	2017年度	・年3回の特別展示の開催 ・セミナー、出前授業の内容充実 ・コンテンツ、設備の見直し	展示企業家企業、教育機関
	2018年度		・取り組み継続		
	2019年度		・取り組み継続		

基盤強化：人材確保・育成

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先
50	企業人材の育成に資する 講座・講習会の開催 中堅・中小企業人材の育成・能力向上	・階層別研修や分野別研修等、企業の人材育成に役立つ講座・講習会を企画・開催する ・企業のニーズにあわせた社内研修講師派遣事業を実施する	2017年度	・各講座の適宜開催	
			2018年度	・取り組み継続	
			2019年度	・取り組み継続	
51	人材確保の支援 求人意欲のある企業の人材確保の支援	・正社員経験の少ない求職者に対し、企業内で職業訓練を行うことで、正社員雇用へとつなげるジョブ・カード事業を実施する ・主に大企業の勤務経験者を中小企業の即戦力人材として橋渡しする「大商キャリア人材採用支援事業」を実施する	2017年度	・活用企業の開拓、訓練カリキュラムの作成支援 ・再就職支援会社を通じた求人企業への人材紹介	日本商工会議所、厚生労働省、大阪労働局、再就職支援企業
			2018年度	・取り組み継続	
			2019年度	・取り組み継続	

基盤強化：創業・経営支援

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先
52	地域金融支援ネットワーク等による創業支援	・大阪府や信用保証協会、地元金融機関等と連携して、公的融資説明会や金融力強化セミナー等を開催する ・創業予定者を対象とした講座を開き、円滑な事業スタートに向けた支援を行う ・大阪府の「開業サポート資金(地域支援ネットワーク型)」や日本政策金融公庫の融資等を活用して創業者の資金調達を支援する	2017年度	・関係機関との連携強化 ・ニーズの掘り起こし方法の検討	大阪府、大阪信用保証協会、地元金融機関等
	2018年度		・取り組み継続		
	2019年度		・取り組み継続		
53	専門家と連携した経営相談体制の確立	・専門相談窓口で中小企業診断士、弁護士等の外部専門家が各種相談を実施する ・国の制度を利用し、専門家を事業所に派遣するとともに、経営指導員が同行して課題解決を図る	2017年度	・関係機関との連携強化 ・ニーズの掘り起こし方法の検討	中小企業庁、大阪府
	2018年度		・取り組み体制の改善・事業継続		
	2019年度		・取り組み体制の改善・事業継続		
54	中小企業のサイバー攻撃対策支援事業の実施	・中小企業のホームページの、サイバー攻撃に対する脆弱性をチェックする「サイバーパトロール事業」を実施する ・ホームページの改ざんや不正アクセスが行われた場合の相談受付、個別具体的対策を支援する「セキュリティ・カウンセリング事業」を実施する ・サイバー攻撃に関する最新情報の提供や、セキュリティ人材を育成するセミナーを開催する	2017年度	・サイバーパトロール事業、セキュリティ・カウンセリング事業、セキュリティ人材育成事業開始	関西情報センター
	2018年度		・取り組み継続		
	2019年度		・取り組み継続		

基盤強化：創業・経営支援

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先
55	中小企業のIT化支援 ITの活用による中小企業の業務効率化支援	「人事労務総合サービス」として、給与計算代行サービスを中心に専門家によるコンサルティングサービスを実施する 「大商VAN」として、卸売業向けのオンライン受発注サービス、小売業向けの本部システムおよび種々データ交換サービスを実施する - ホームページ作成サービスやオンラインショップ開設支援サービス「b-Smile Shop」を実施する	2017年度	・「人事労務総合サービス」：給与システムの更新	ウェブスペース(株)、(株)クレアスリール等
			2018年度	・「大商VAN」：消費税法の改定に対応	
			2019年度	・「大商VAN」：通信環境の変化に対応	
56	中小企業の事業引継ぎ支援 第三者承継、親族内・従業員承継等の支援による中小企業の事業継続・雇用確保の実現	- 大阪府事業引継ぎ支援センターを運営する - 第三者承継、親族内・従業員承継等に関する相談対応を行う - 事業承継についての潜在的なニーズを掘り起こす - 事業承継、M & A 関連のセミナーを実施する	2017年度	- 金融機関との一層の連携強化 - ニーズの掘り起し方法の検討	中小企業庁、近畿経済産業局、中小企業基盤整備機構
			2018年度	・他機関との連携、ニーズの掘り起し方法等の検証、事業運営方法の改善	
			2019年度	・取り組み継続	
57	中小企業の再生・経営改善支援 中小企業の事業再生、経営改善支援による地域経済の活力維持、雇用確保	- 大阪府経営改善支援センターを運営する - 経営革新等支援機関(認定支援機関)と連携して、中小企業の経営改善計画の策定を支援する - 大阪府中小企業再生支援協議会を運営し、窓口相談のほか、事業再生計画の策定や金融機関との調整を支援する	2017年度	- 案件の発掘 - 支援目標(計画策定完了件数)の達成	中小企業庁、近畿経済産業局、中小企業基盤整備機構
			2018年度	・取り組み継続	
			2019年度	・取り組み継続	

基盤強化：インフラ整備

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先
58	都市インフラの整備促進 大阪・関西の経済発展に必要な鉄道・道路・港湾等の都市インフラの整備促進	・リニア中央新幹線の早期大阪延伸に向けた要望活動や機運醸成事業を実施する ・北陸新幹線の大阪延伸に向け、北陸・関西連携会議を開催し、機運醸成を行う ・阪神高速淀川左岸線延伸部の整備に向けた要望を実施する	2017年度	・適宜要望活動を実施 ・北陸・関西連携会議の開催	大阪府、大阪府商工会議所連合会、関西経済連合会、金沢・富山・福井・京都・神戸・大津の各商工会議所
			2018年度	・取り組み継続	
			2019年度	・取り組み継続	
59	関西国際空港の利用促進 旅客・貨物の両面からの関西国際空港の利用促進	・集客や利用促進に向けた国内外のプロモーション活動を実施する ・欧米など中長距離路線の拡充に向けたプロモーションを行う ・食品貨物輸出入取引拡大に資するセミナーやバイヤーとの商談会を開催する	2017年度	・適宜要望、プロモーション活動の実施 ・食品貨物輸出入取引拡大関連事業の実施	関西国際空港全体構想促進協議会、関西エアポート、大阪府、関西経済連合会
			2018年度	・取り組み継続	
			2019年度	・取り組み継続	

基盤強化：政策提言・要望

No.	名称・目的	事業概要	スケジュール		関係先
60	国・自治体等への 政策提言・要望活動の実施	・国・地元自治体等に対し、「たんと繁盛 大阪アクション」の推進をはじめ、会員企業の経営環境改善（中小企業対策、税制改正等）、成長戦略、まちづくりなど幅広いテーマでの政策提言・要望活動を実施する	2017 年度	・各テーマでの要望活動を実施	関係省庁、大阪府、大阪市等
	2018 年度		・取り組み継続		
	2019 年度		・取り組み継続		
	大阪・関西の成長に不可欠な国・自治体等の政策実現				

評価指標

※集計範囲は大阪府（ただし、⑥グローバル市場開拓プロジェクトを除く）

フィールド・プロジェクト		評価指標	出所
全 体		■ 大阪府内GDP実質成長率 ■ 大阪商工会議所会員数	大阪府民経済計算 大阪商工会議所
【1】ウェルネス 加速フィールド	①ライフサイエンス産業の深耕 プロジェクト	■ 製造品出荷額等・全国シェア（医薬品製剤製造業） ■ 製造品出荷額等・全国シェア （医療用機械器具・医療用品製造業） （■ 医薬品製造業・医療機器製造業の事業所数）	工業統計調査 （経済センサス）
	②スポーツ産業の創出 プロジェクト	■ 製造品出荷額等・全国シェア（運動用具製造業等） ■ スポーツ関連サービス業売上高・全国シェア （スポーツ施設提供業、スポーツ・娯楽用品賃貸業）	工業統計調査 特定サービス産業 実態調査
【2】インバウンド 増進フィールド	③観光の本格的な産業化 プロジェクト	■ 来阪外国人旅行者数 ■ 来阪外国人延べ宿泊者数 ■ 来阪外国人旅行者による観光収入	大阪観光局
	④都市魅力のさらなる向上 プロジェクト	■ 世界の都市総合力ランキング	森記念財団 都市戦略研究所

※集計範囲は大阪府（ただし、⑥グローバル市場開拓プロジェクトを除く）

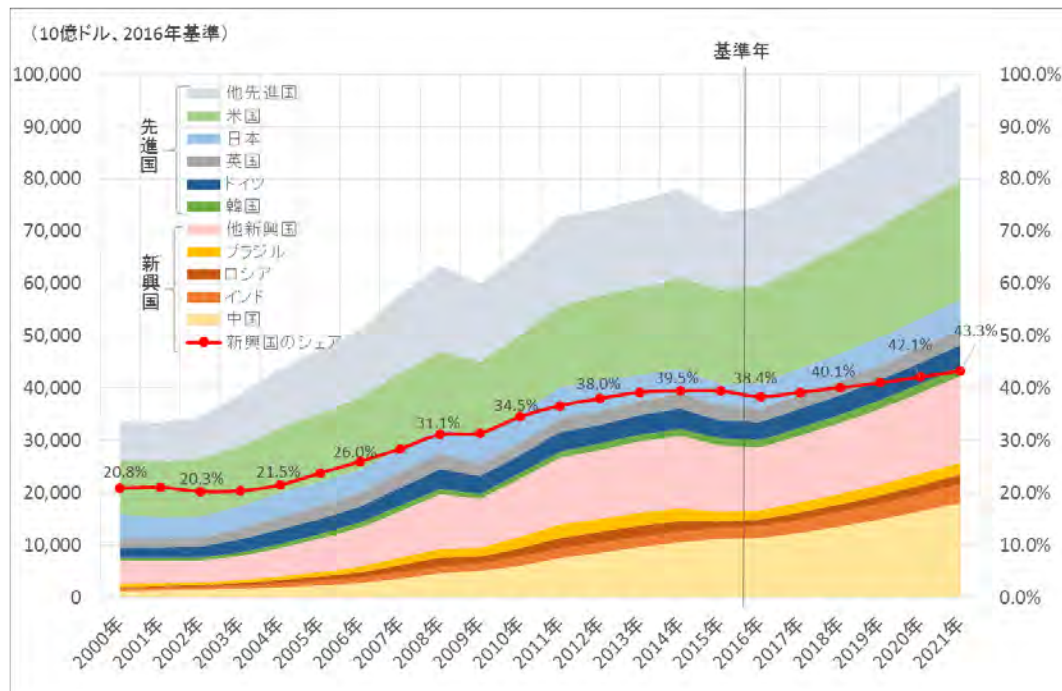
フィールド・プロジェクト		評価指標	出所
【3】マーケット 創出フィールド	⑤イノベーション・エコシステムの 構築プロジェクト	■ 製造業（全体）の付加価値額・全国シェア ■ サービス産業（全体）の売上高・全国シェア ■ 実証事業実施件数 ■ 行政データ活用件数	工業統計調査 サービス産業動向 調査（拡大調査） 大阪商工会議所 大阪商工会議所
	⑥グローバル市場開拓 プロジェクト	■ 大阪税関管内の輸出実績・全国シェア ■ 大阪税関＋神戸港の輸出実績・全国シェア	貿易統計
	⑦商流創造プロジェクト	■ 商業販売額・全国シェア （百貨店、スーパー、家電大型専門店、ドラッグストア、 ホームセンター）	商業動態統計調査
	⑧新戦力フロンティア人材発掘 プロジェクト	■ 「専門的・技術的分野」の在留資格を有し、大阪府内事業所に勤務する外国人労働者数 ■ 就業率 女性（35～44歳） ■ 20～25歳人口の3月における大阪圏への転入超過数 ■ 留学生数（高等教育機関及び日本語学校）・全国シェア	外国人雇用状況の 届け出状況 労働力調査 住民基本台帳 外国人留学生在籍 状況調査

背景（社会経済データ）

今後の経済・社会環境の変化 ①新興国の成長

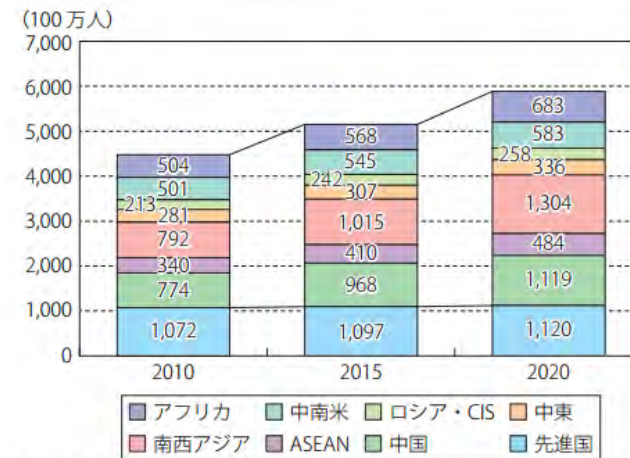
アジアを中心とした新興国の経済成長は引き続き底堅く、アジアでは特に中間層・富裕層人口が増加。

■ 主要国のGDP(名目)規模の推移



(出典) IMF“World Economic Outlook_WEO2016”より三菱総合研究所作成

■ 地域別の中間層・富裕層人口



備考：世帯可処分所得別の家計人口。各所得層の家計比率×人口で算出。
2015年、2020年の各所得層の家計比率はEuromonitor推計。
資料：Euromonitor International 2013、UN「World Population Prospects: The 2010 Revision」から作成。

所得層の定義

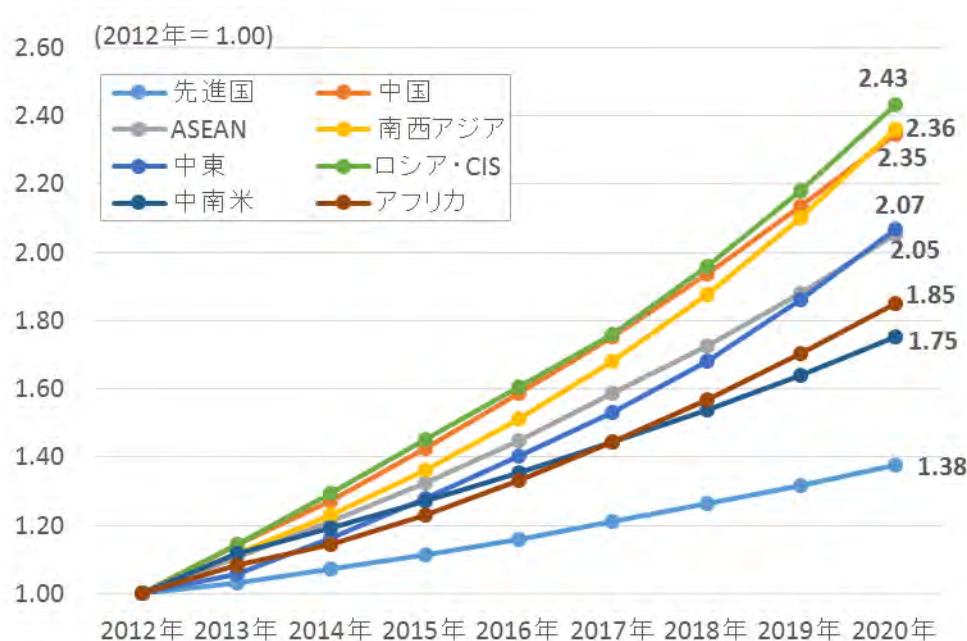
所得層	世帯年間可処分所得	消費性向イメージ
富裕層	35,000 ドル以上	-
上位中間層	15,000 ドル以上 ～35,000 ドル未満	外食や教育、レジャーなど、各種サービスへの消費性向が急速に上昇。ヘルスケア分野への消費性向の高まり
下位中間層	5,000 ドル以上 ～15,000 ドル未満	洗濯機や冷蔵庫など、各種家電製品の保有率が急速に上昇
低所得層	5,000 ドル未満	-

(出典) 経済産業省「通商白書2013」

今後の経済・社会環境の変化 ①新興国の成長

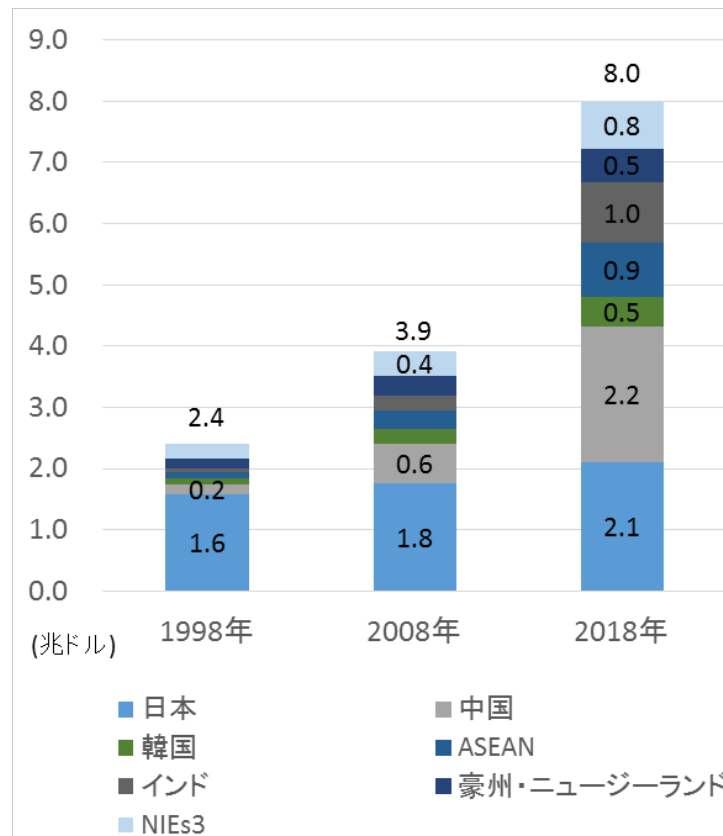
中間層の増加に伴い、中国やASEANなどを中心に個人消費（消費財に加え旅行等のサービス消費を含む）の伸びが予想される。

■ 各国の消費支出額の伸び率（2012年-2020年）



(出典) 経済産業省「通商白書2013」

■ アジア各国・地域のサービス支出の実績・予測

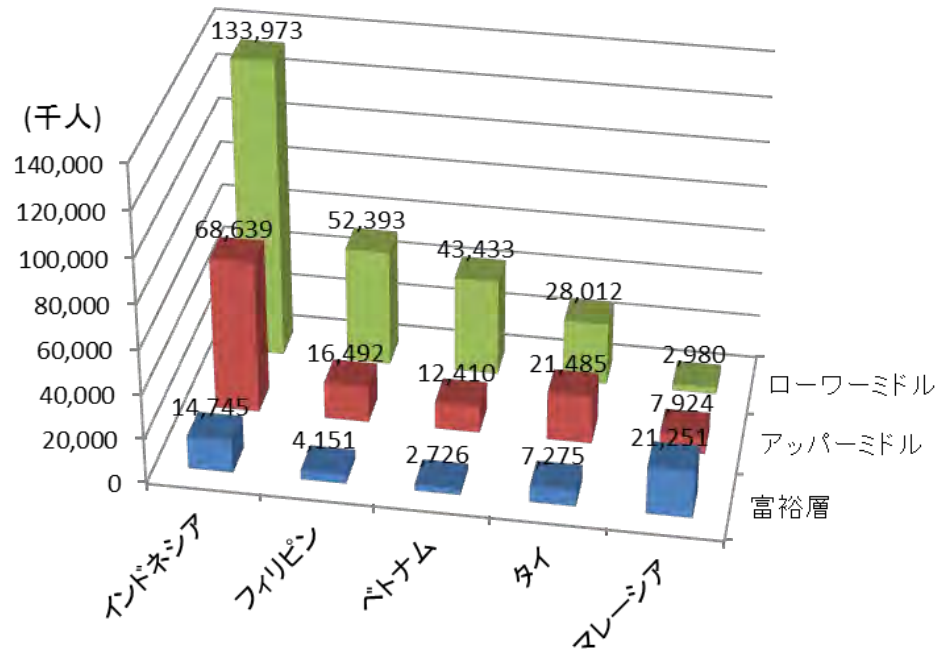


(出典) 経済産業省「通商白書2010」

今後の経済・社会環境の変化 ①新興国の成長

ASEANのなかでは、特にインドネシアにおける中間層の市場規模拡大が予想される。

■ ASEANにおける中間層人口の予測(2020年)



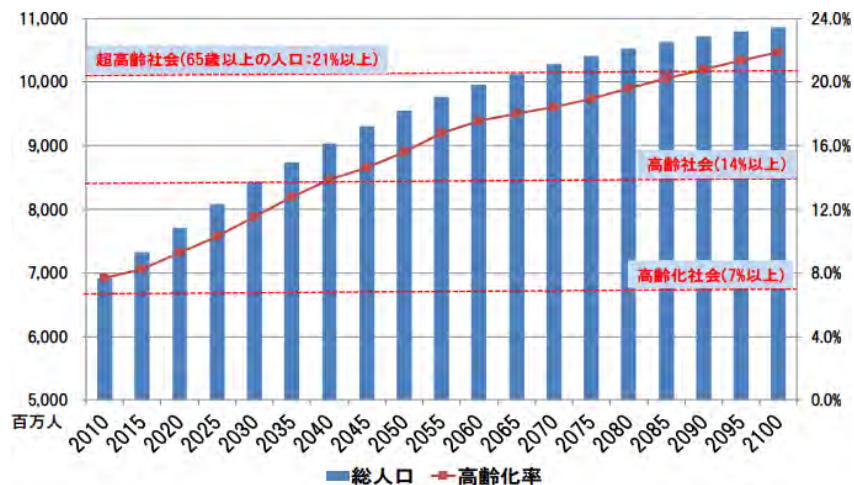
- ・ローワーミドル：世帯可処分所得 年間5,000ドル超 15,000ドル以下
- ・アッパーミドル：世帯可処分所得 年間15,000ドル超 35,000ドル以下
- ・富裕層：世帯可処分所得 年間35,000ドル超

(出典)日本貿易振興機構(JETRO)「これからの消費市場を読む～拡大する世界の中間層を狙え～」2011年1月

今後の経済・社会環境の変化 ②少子高齢化と人口減少

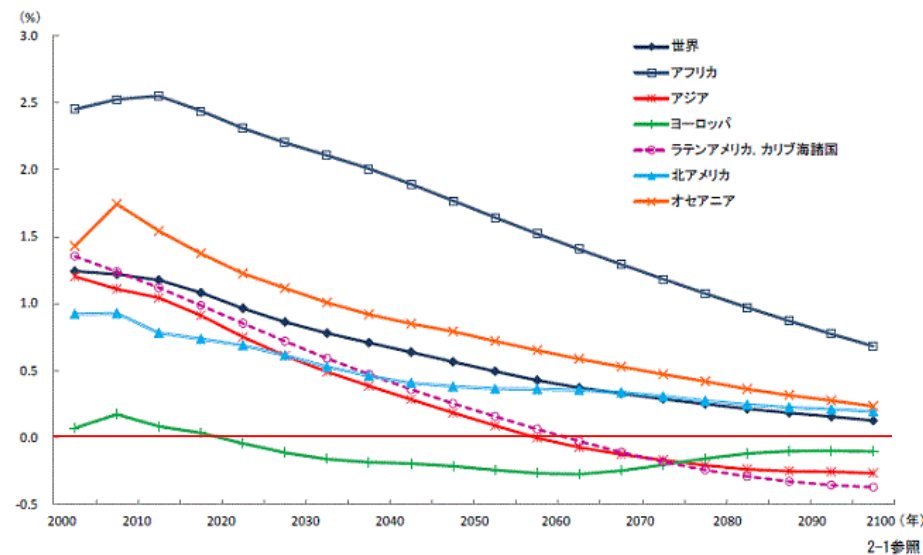
新興国の成長に伴って、世界の総人口が増加する一方、先進諸国では少子高齢化が進み、世界人口の増加率は緩やかになる。

■ 世界の人口と高齢化



(出典) World Population Prospects: The 2012 Revision (United Nations) より三菱総研作成

■ 人口の年平均増減率の推移

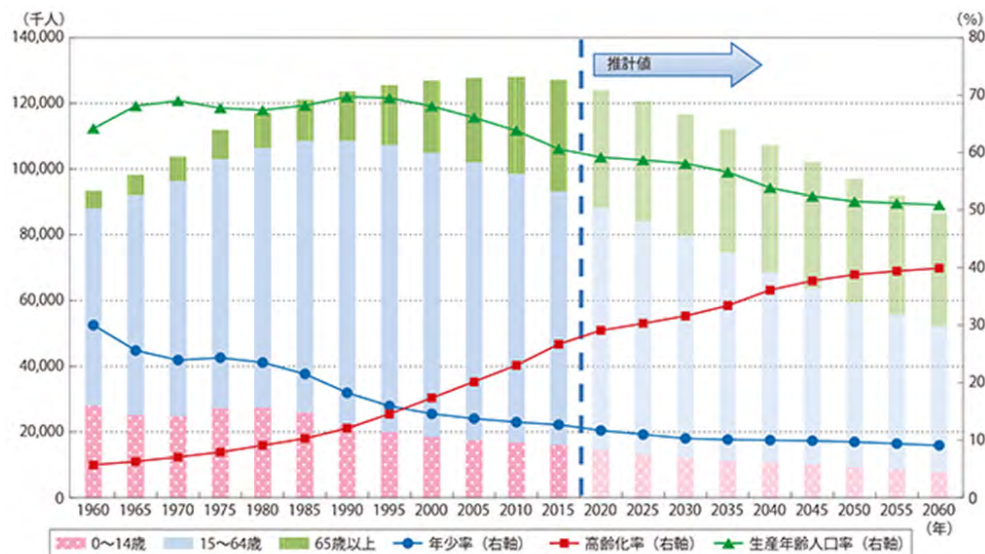


(出典) 総務省「世界の統計2016」

今後の経済・社会環境の変化 ②少子高齢化と人口減少

日本では、2008年をピークに人口は減少に転じ、2060年には8,674万人まで減少すると予想されている。また日本や欧米だけでなく、韓国や中国でも急速な高齢化が進む。

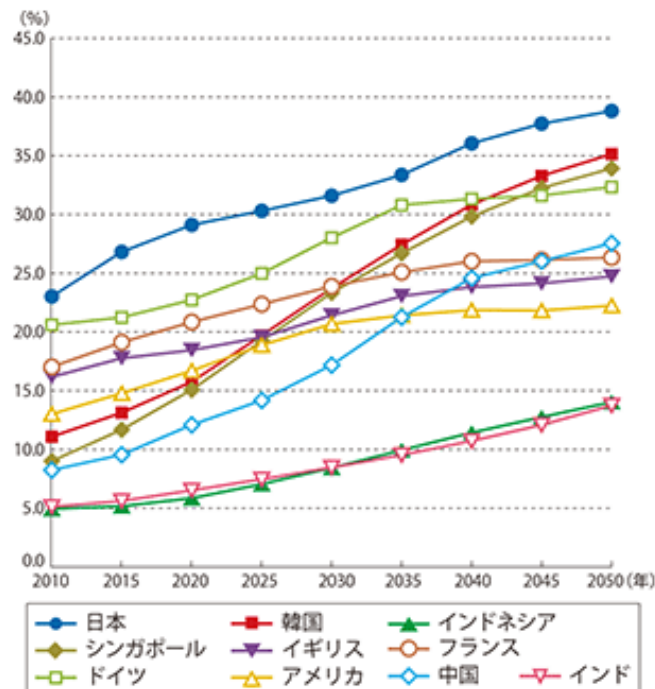
■ 日本の人口



資料) 2010年までの値は総務省「国勢調査」「人口推計」、2015年は総務省「人口推計」(2015年10月1日現在)、推計値は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2012年1月推計)」の中心推計より国土交通省作成

(出典) 総務省「国勢調査」(2010年まで)、「人口推計」(2015年まで)
国土交通省「平成27年国土交通白書」(推計値)

■ 世界各地域の高齢化



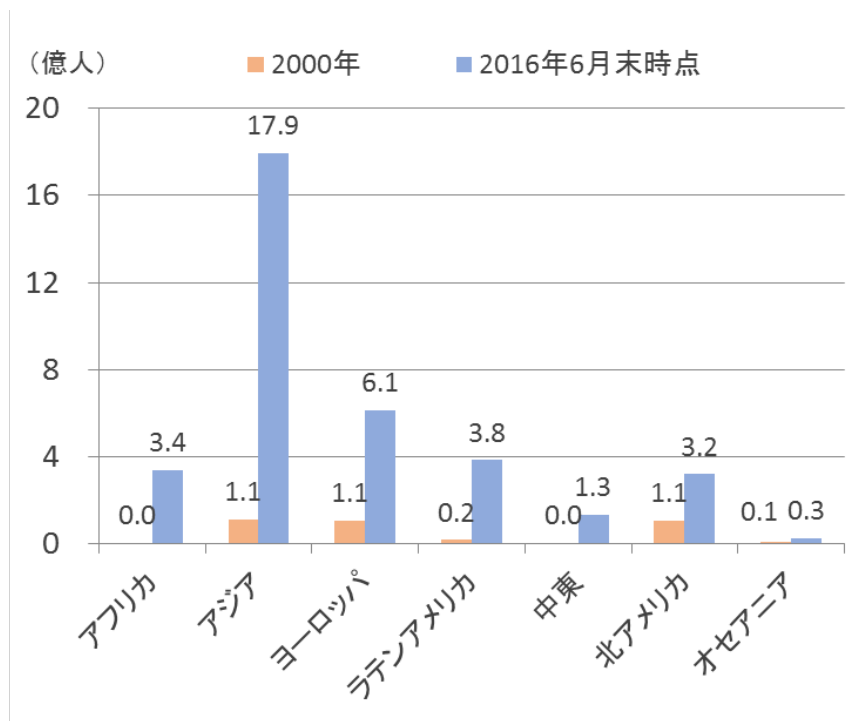
(注) いずれも2010年は実績値、2010年以降は中心推計の値
資料) 日本は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2012年1月推計)」、日本以外はUnited Nations「World Population Prospects: The 2015 Revision」より国土交通省作成

(出典) 国土交通省「平成27年国土交通白書」

今後の経済・社会環境の変化 ③情報通信技術の飛躍的発展

コンピュータやインターネットに関連する情報通信技術に加えて、IoT、ビッグデータ、AIといった先端分野において、技術の飛躍的な発展が見込まれる。

■ 世界のインターネットユーザー数の推移



(出典)Internet World Stats"The Internet Big PictureWorld Internet Users and 2016 Population Stats"

■ インターネットにつながるモノの数 (IoT) の推移・予測

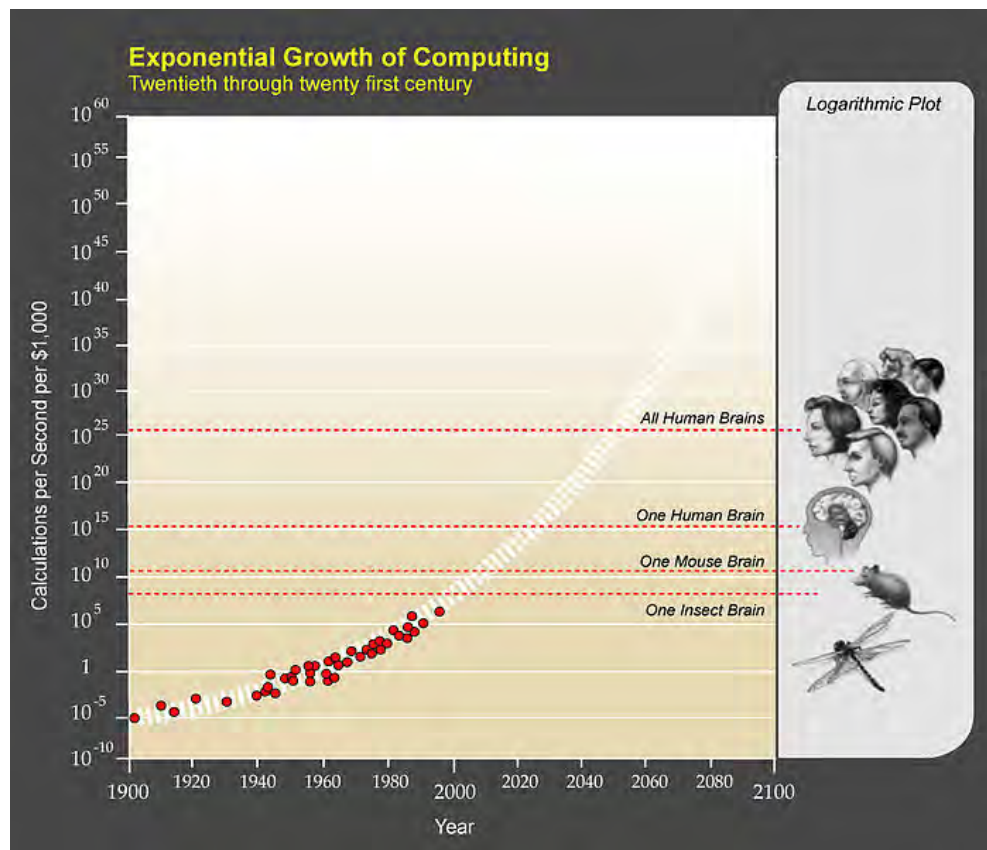


(出典) 総務省「平成27年版情報通信白書」

今後の経済・社会環境の変化 ③情報通信技術の飛躍的発展

2040～2050年頃には、大きな技術的特異点（シンギュラリティ）を迎えると言われており、企業活動や生活、社会のあり方も大きく変容する可能性も指摘されている。

- シンギュラリティの定義と時期
(20世紀～21世紀にかけてのコンピュータ演算技術の指数関数的成長)

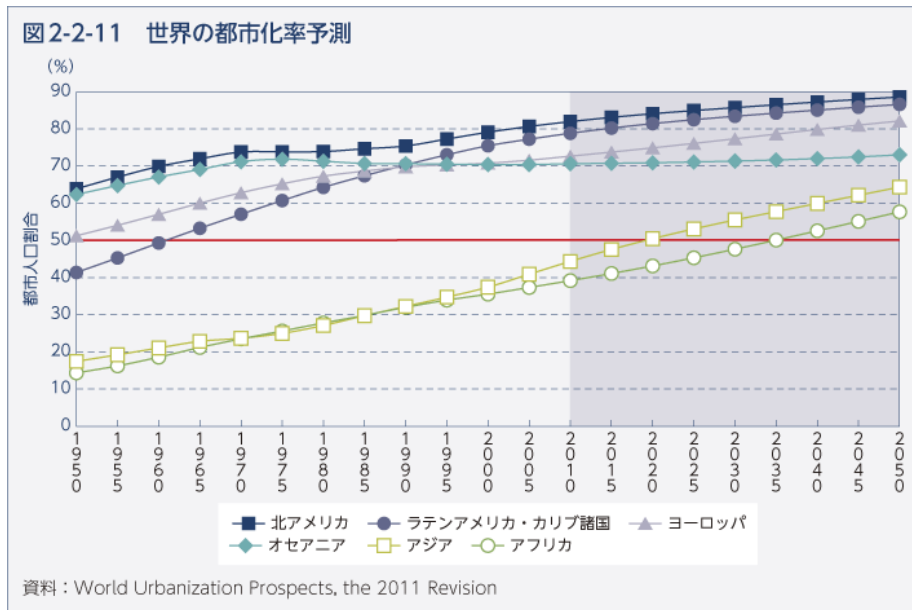


(出典) Wikimedia Commons “Ray Kurzweil and Kurzweil Technologies, Inc. Exponential growth of computing. 20th to 21st centuries”を引用、日本語訳追加

今後の経済・社会環境の変化 ④都市間競争の激化

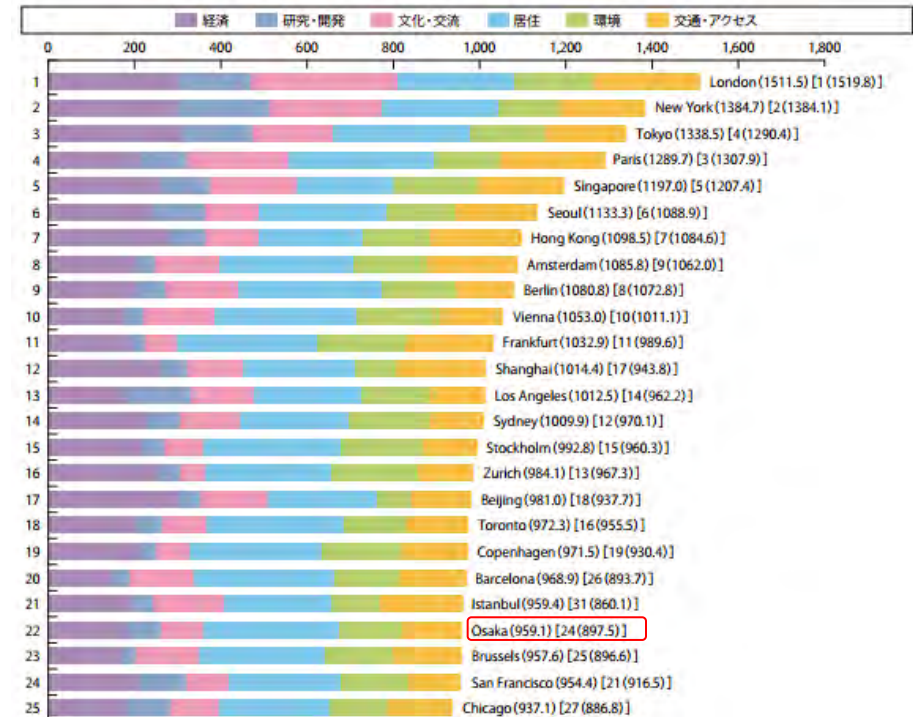
世界的に都市部への人口集積が進展し、都市間競争がさらに激化している。

■ 世界の都市化予想



(出典) 環境省「平成25年版環境白書、循環型社会白書、生物多様性白書」

■ 世界の都市総合力ランキング (GPCI) 2016

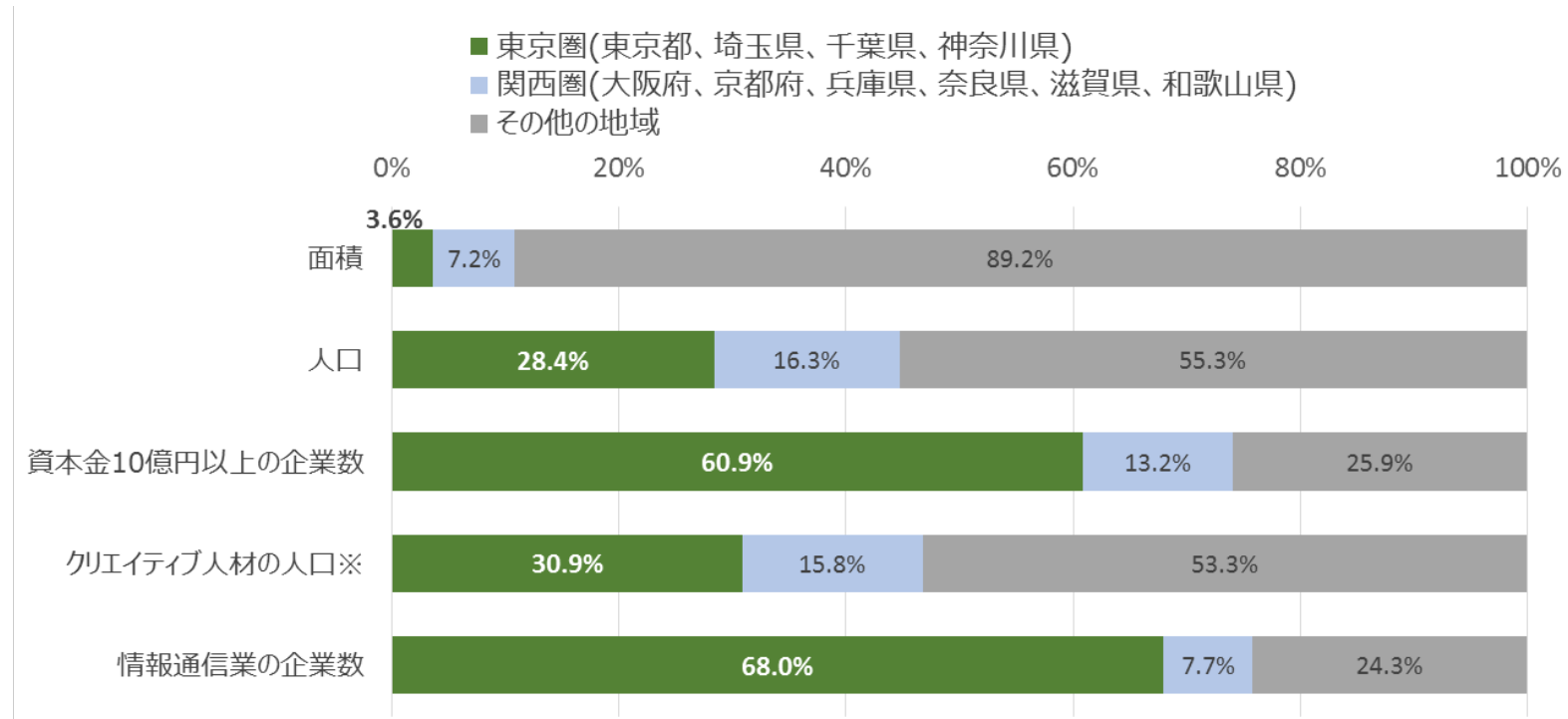


(出典) 森記念財団都市戦略研究所「世界の都市総合力ランキング (Global Power City Index, GPCI) 2016」

今後の経済・社会環境の変化 ⑤国の成長戦略の進化と東京一極集中の是正

2012年からの安倍晋三内閣の経済政策において、成長産業分野（フロンティア）の模索・開拓や、東京一極集中の是正、地域経済の活性化が重視されている。

■ 東京一極集中の現状



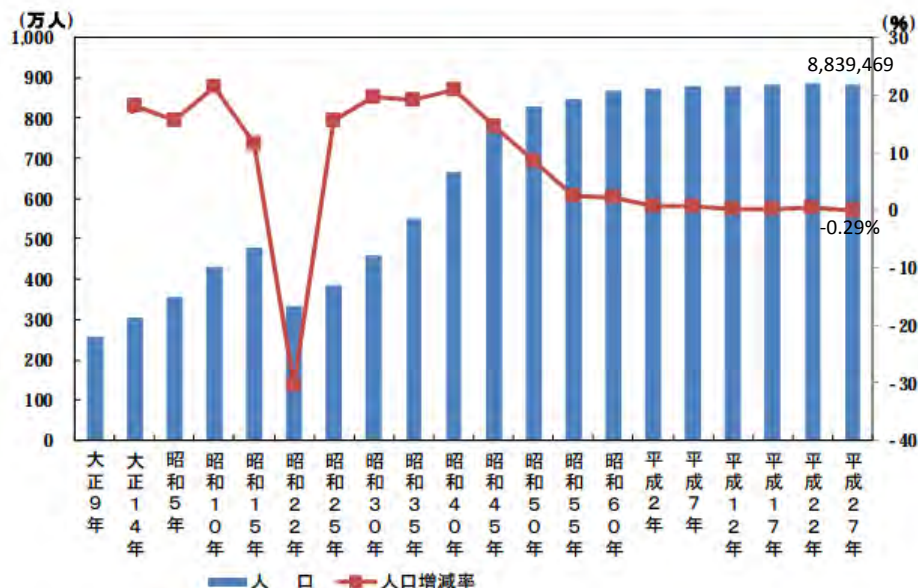
※クリエイティブ人材：15歳以上就業者数のうち、平成22年国勢調査に用いる職業分類のA管理的職業従事者（管理的公務員、法人・団体役員など）、B専門的・技術的職業従事者（研究者、技術者、著述家、記者、編集者、美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者、教員など）

（出典）総務省「平成22年国勢調査」、国税庁「統計年報書」（平成26年）、経済産業省「平成27年企業活動基本調査確報」より三菱総合研究所作成

大阪・関西の現状と強み ①大阪・関西の現状

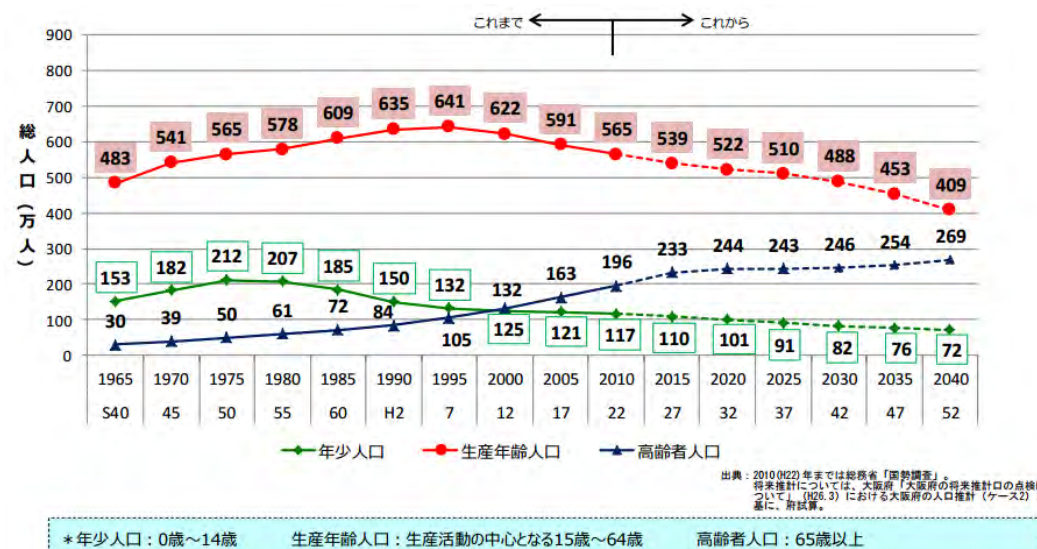
大阪府では、人口が減少に転じ、少子高齢化、なかでも生産年齢人口の減少が続く。

■ 大阪府の人口



(出典) 大阪府「大阪府の人口等基本集計結果(概要版) 平成27年国勢調査より」

■ 大阪府の年齢別の人口構成の推移

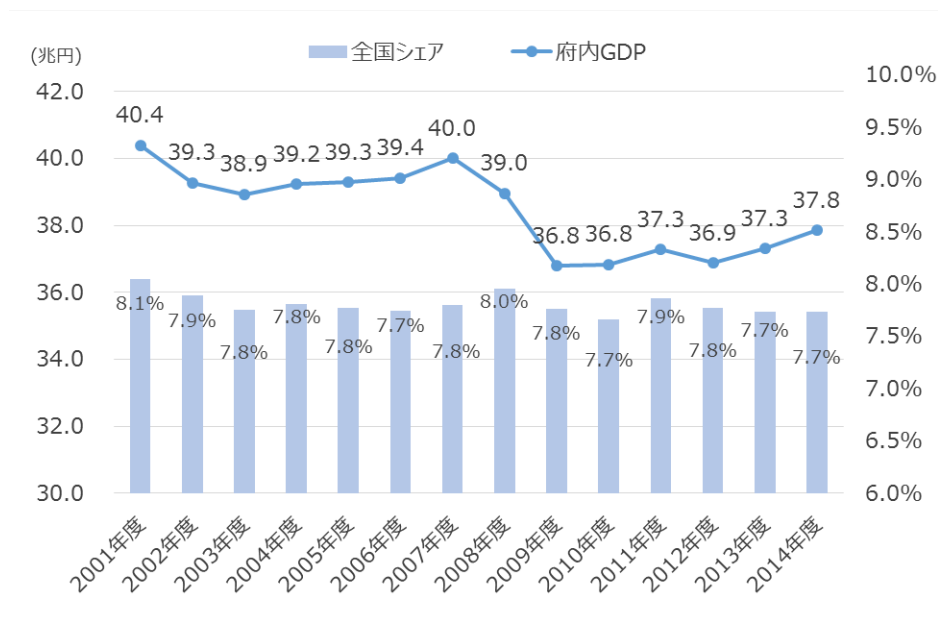


(出典) 大阪府「大阪府人口ビジョン」平成28年3月

大阪・関西の現状と強み ①大阪・関西の現状

大阪府内総生産は、2009年度以降やや持ち直しているものの、全国シェアは引き続き緩やかな低下トレンドにある。消費支出も全国的傾向と同じく縮小傾向にある。

■ 府内総生産(名目)および全国シェア



※ 全国シェアは、「府内総生産(名目)／国内総生産(名目)」により算出。

(出典) 大阪府「府民経済計算」、内閣府「国民経済計算」

■ 地域別の消費支出の推移



(出典) 総務省「家計調査年報」

大阪・関西の現状と強み ②特色あるものづくり

大阪府内総生産（製造業）は長期的に減少傾向にあるが、化学等の素材分野、一般機械、金属製品などでは引き続き高い集積やポテンシャルを有している。

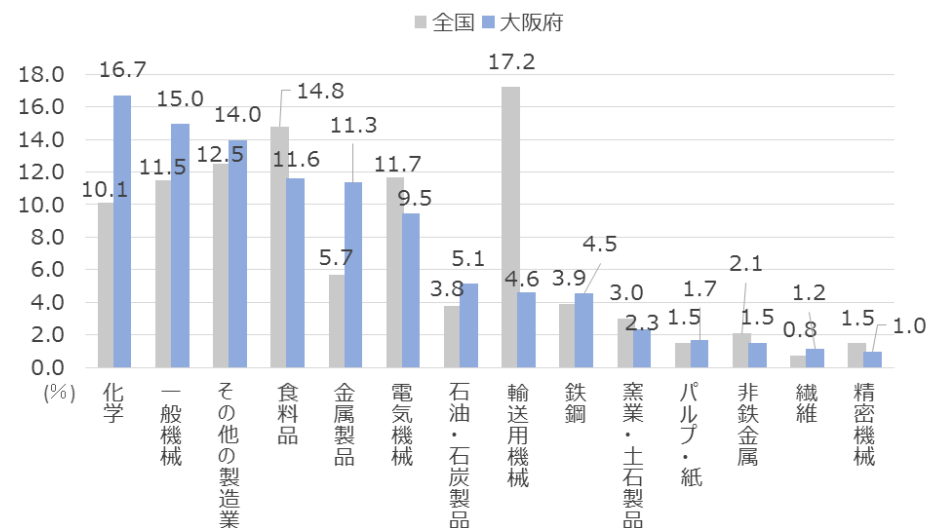
■ GDPに占める製造業の割合 （大阪府・東京都・愛知県）



※ 愛知県は平成13年度から、大阪府および東京都は平成7年度・平成13年度に基準改定。

（出典）内閣府「県民経済計算」

■ GDP（製造業）に占める業種別割合

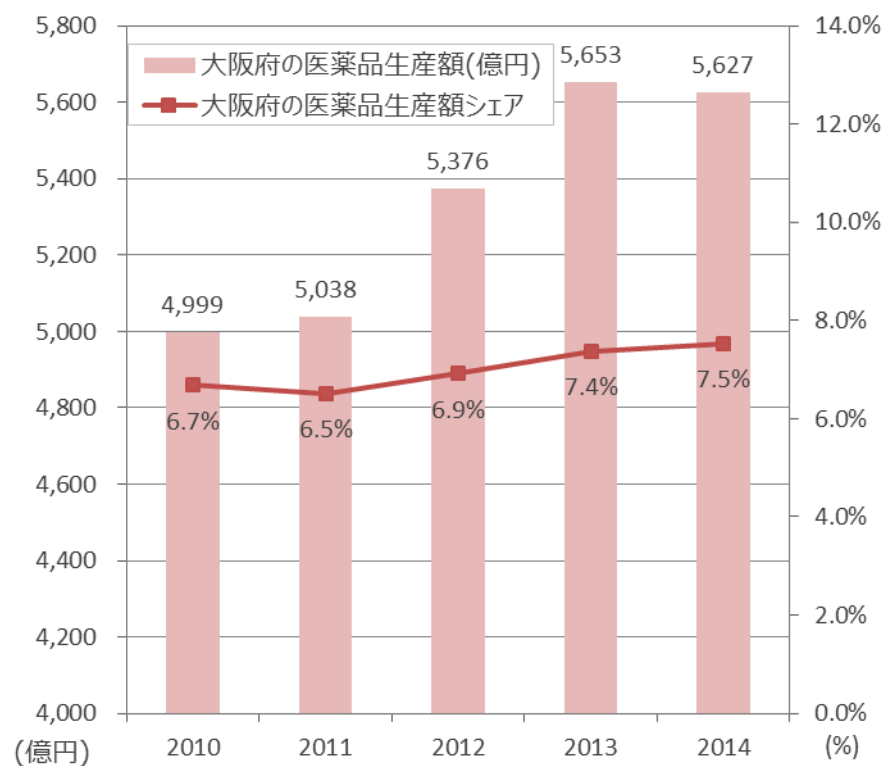


（出典）内閣府「県民経済計算」

大阪・関西の現状と強み ②特色あるものづくり

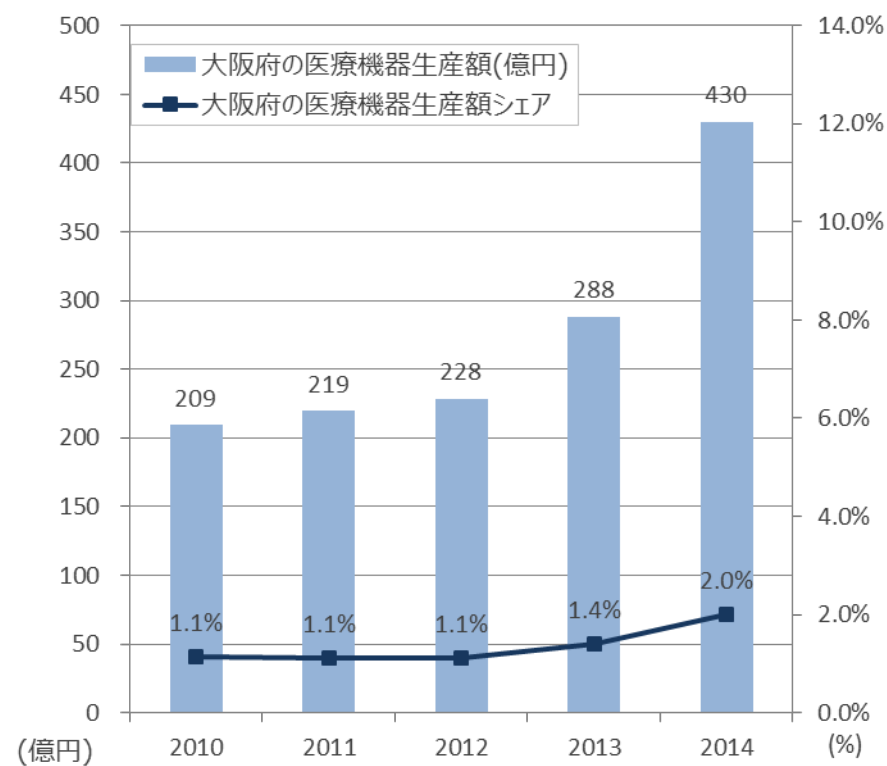
ライフサイエンス分野では、医薬品・医療機器の生産額、シェアともに、増加傾向にある。

■ 大阪府内の医薬品の生産額・シェアの推移



(出典)厚生労働省「薬事工業生産動態調査」

■ 大阪府内の医療機器の生産額・シェアの推移



(出典)厚生労働省「薬事工業生産動態調査」

大阪・関西の現状と強み ③研究開発機能の集積

大阪には、企業の研究開発拠点や大学が集積しており、なかでも化学、医薬品・医療機器、機械等の分野において強みを有している。

■ 大阪府に研究機関が多い業種

業種	研究機関数 (大阪府)	全国(100)に おける構成比
塗料・インキ製造	16	26.2
紙・パッケージ製造	11	17.5
その他化学製造	31	15.2
医薬品製造	25	15.2
その他	12	14.6
電力・ガス供給	3	12.5
非鉄製造	12	10.9
一般機械製造	36	10.6
鉄鋼製造	8	10.0
金属製品製造	14	9.9
分析	8	9.4
プラスチック製造	26	8.6
電気・電子製造	32	8.5
窯業製品製造	10	7.7
繊維製品製造	8	7.3
建設	17	6.2
情報	2	5.4
精密機械製造	6	5.0

(出典) 大阪府立産業開発研究所「企業における研究機関の
設置状況に関する調査」平成19年3月より三菱総研作成

■ 国内研究機関の総合トップ20機関

国内順位	機関名	論文引用数	論文引用数の 割合
1位	東京大学	1,311	1.60%
2位	京都大学	739	1.20%
3位	大阪大学	590	1.20%
4位	国立研究開発法人理化学研究所	557	2.30%
5位	東北大学	505	1.10%
6位	国立研究開発法人産業技術総合研究所	375	1.30%
7位	名古屋大学	339	1.10%
8位	東京工業大学	288	1.10%
9位	国立研究開発法人物質・材料研究機構	257	1.80%
10位	九州大学	254	0.80%
11位	筑波大学	232	1.10%
12位	北海道大学	207	0.60%
13位	広島大学	186	1.10%
14位	岡山大学	179	1.20%
15位	自然科学研究機構*	148	1.20%
16位	慶應義塾大学	148	0.90%
17位	早稲田大学	144	1.30%
18位	神戸大学	138	1.00%
19位	高エネルギー加速器研究機構	122	1.90%
20位	千葉大学	111	0.80%

(出典) トムソン・ロイター「ニュースリリース」2015年4月16日

大阪・関西の現状と強み ③研究開発機能の集積

ライフサイエンス分野では、北大阪を中心に、国立研究機関や大学などが集積するクラスターが形成されており、バイオベンチャーの集積も厚みを増しつつある。

■ 北大阪を中心としたバイオクラスター

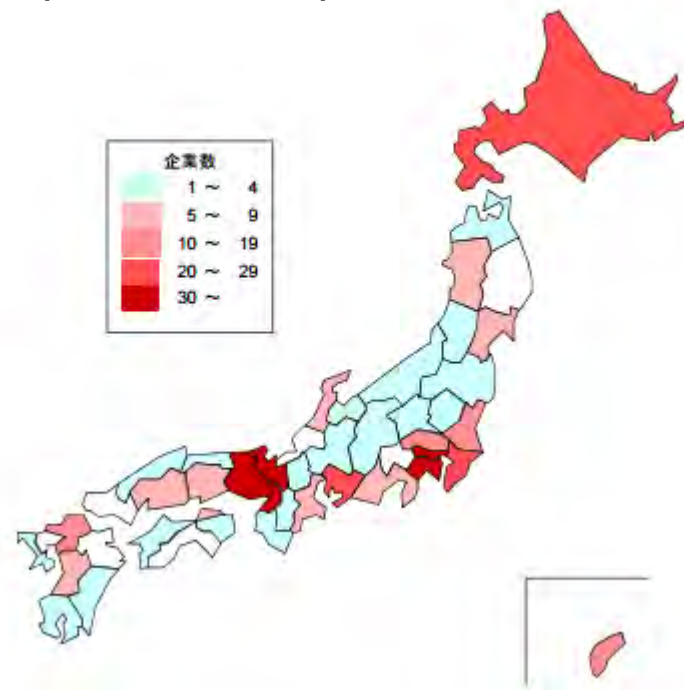
● 主な研究機関

- ①大阪バイオヘッドクォーター
- ②医薬基盤・健康・栄養研究所
- ③彩都バイオインキュベーション施設
- ④大阪大学、大阪大学医学部附属病院
- ⑤健都・国立循環器病研究センター、
国立健康・栄養研究所
- ⑥理化学研究所 生命システム研究センター
- ⑦関西大学
- ⑧産業技術総合研究所 関西センター
- ⑨大阪府立成人病センター研究所
- ⑩大阪府立公衆衛生研究所
- ⑪大阪市立大学
- ⑫大阪府立大学
- ⑬大阪府産業技術総合研究所
- ⑭大阪府立大学りんくうキャンパス
- ⑮京都大学原子炉実験所



(出典) 北大阪バイオヘッドクォーター「北大阪バイオクラスターパンフレット」
(2015年7月改訂) より三菱総合研究所作成

■ バイオベンチャー企業の本社所在地の分布 (2015年1月現在)



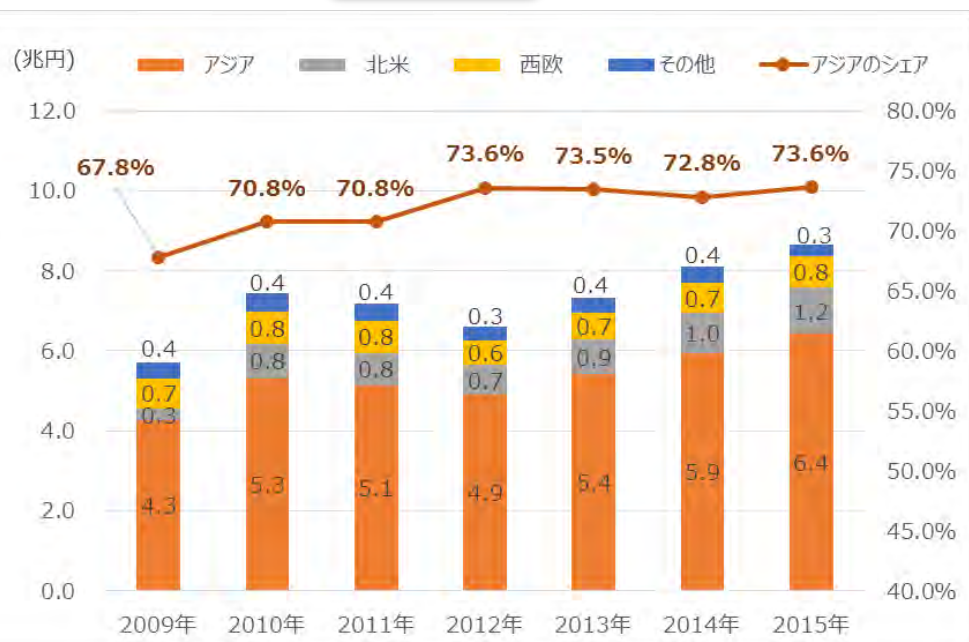
(出典) 一般財団法人バイオインダストリー協会「2015年バイオベンチャー統計・
動向調査(概要版)」2015年10月

大阪・関西の現状と強み ④アジアとの結びつき

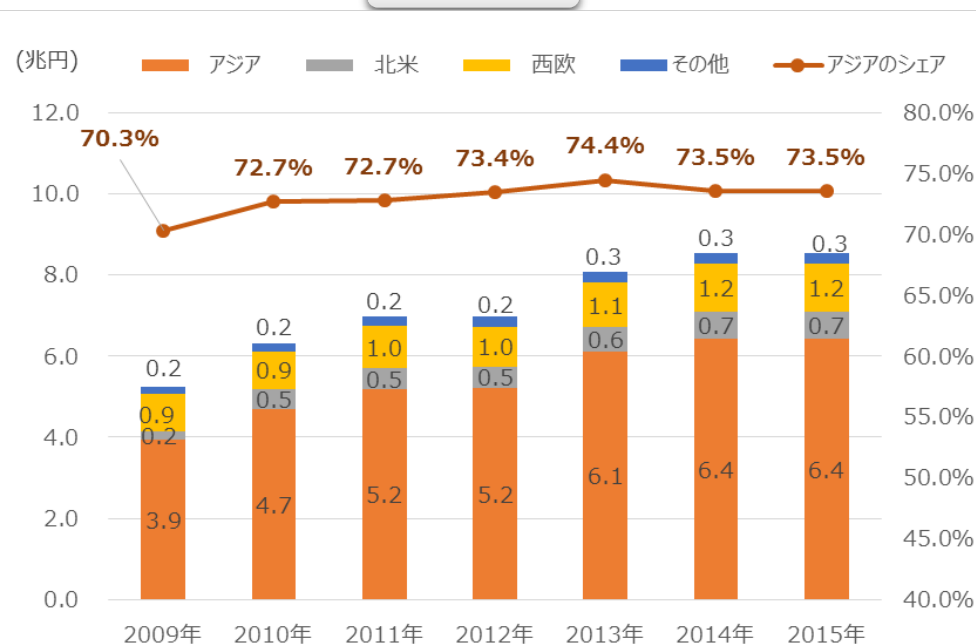
大阪の輸出入金額に占めるアジアの比率は7割を超え、年々増加傾向にある。

■ 大阪港・関西国際空港の地域別輸出入額の推移

輸出



輸入

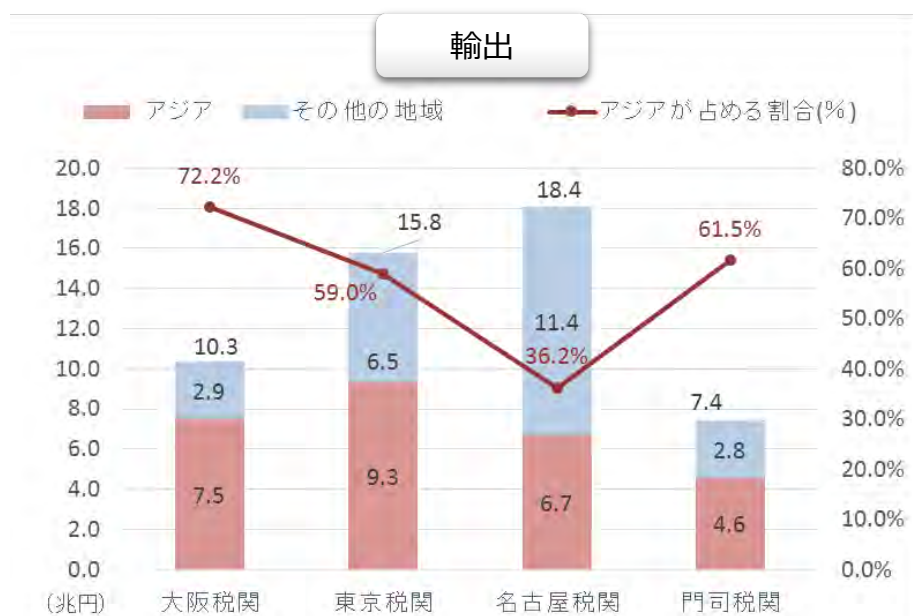


(出典) 大阪税関「貿易統計」

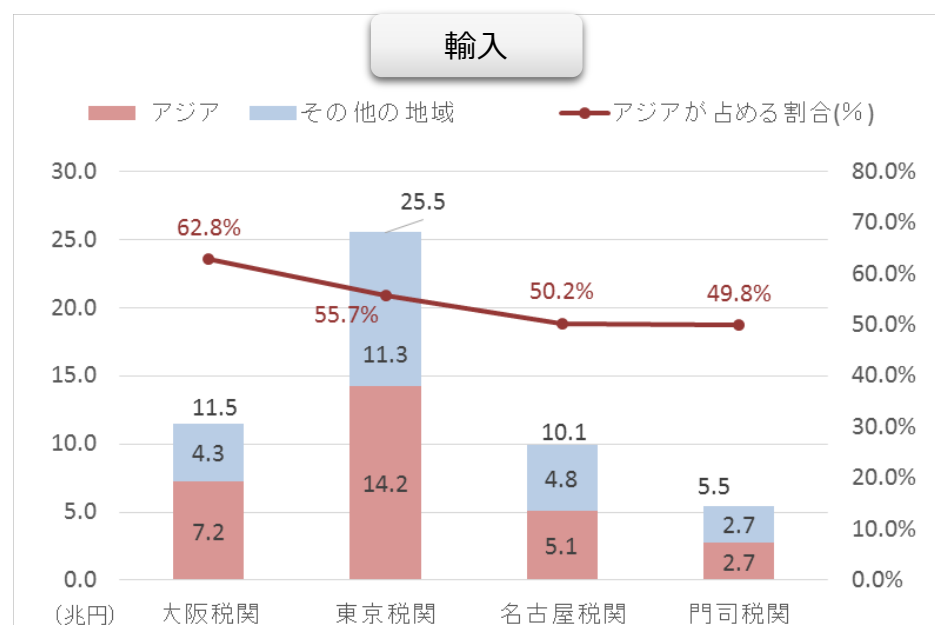
大阪・関西の現状と強み ④アジアとの結びつき

大阪税関は他地域の税関と比べてアジア特化率が高い。

■ 各税関の輸出入額とアジアへの特化率



(出典) 財務省「貿易統計」(平成27年分確定値)



(出典) 財務省「貿易統計」(平成27年分確定値)

大阪・関西の現状と強み ④アジアとの結びつき

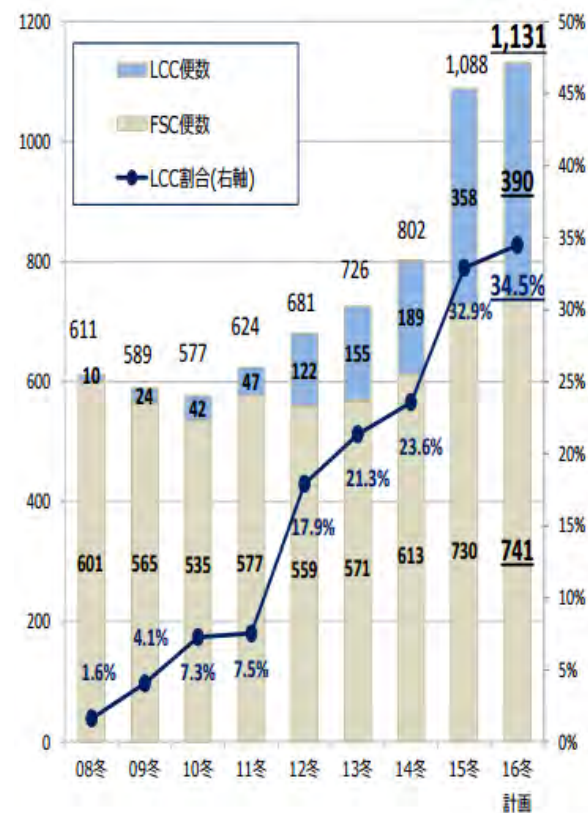
関西国際空港では、アジア便の占める割合が9割前後と、成田空港に比べて高い。またLCC就航便数も大きく伸びており、アジアからの訪日観光客を押し上げている。

■ アジア方面旅客便数の比較(関西空港・成田空港)



(出典) 国土交通省「2016冬期スケジュール 国際定期便の概要」

■ 関西空港・国際線旅客便数におけるLCC割合

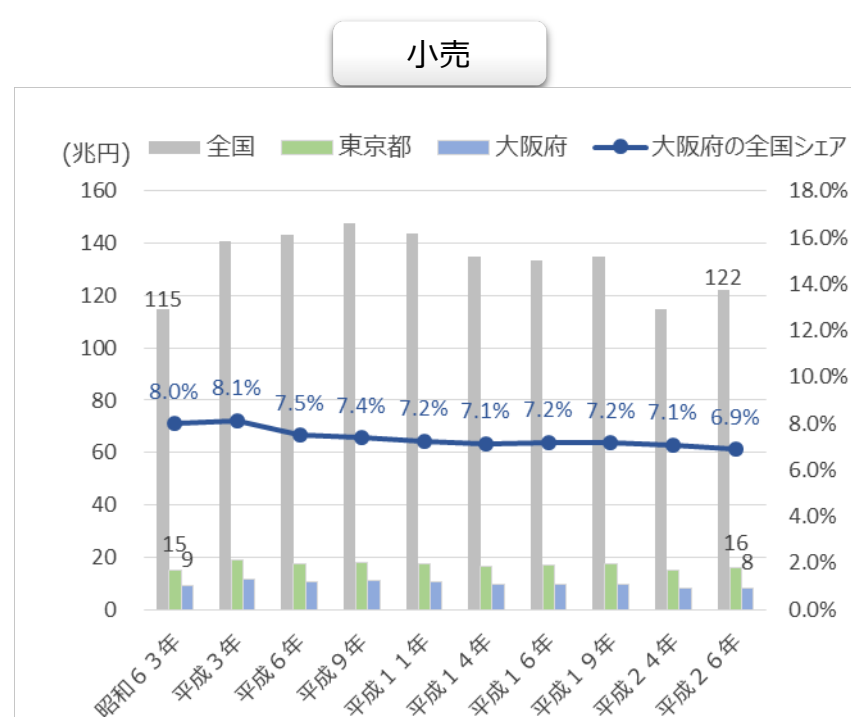
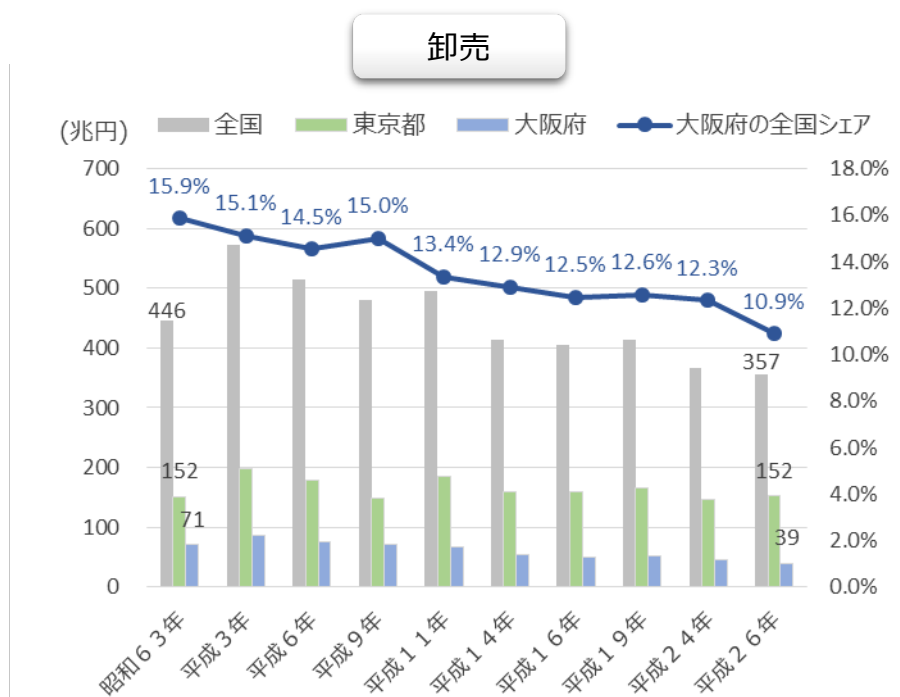


(出典) 関西エアポート株式会社プレスリリース 2016年10月28日
「関西国際空港におけるLCCの概況及び方面別便数」

大阪・関西の現状と強み ⑤流通・サービス業の集積

大阪の卸売業・小売業は、全国的な傾向と同様に減少傾向にある。

■ 流通業の年間商品販売額の推移



(出典) 経済産業省「商業動態統計」

事業所数、従業員数、年間商品販売額ともに、全国都道府県のなかで2位を占めており、他地域に比べて相対的な強みを有している。

■ 都道府県別小売業・卸売業の規模ランキング

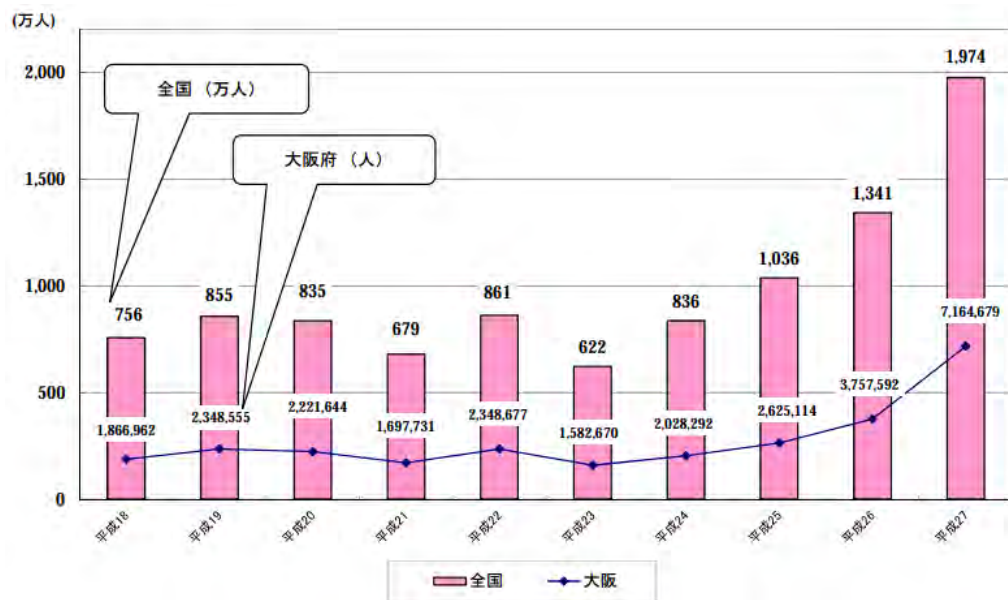
都道府県	事業所数 (順位)	従業員数 (順位)	年間商品販売額 (百万円) (順位)
全国	1,039,079 –	8,569,694 –	4,788,284 –
東京都	106,460 (1位)	1,299,880 (1位)	1,678,596 (1位)
大阪府	69,616 (2位)	668,205 (2位)	473,031 (2位)
愛知県	57,499 (3位)	530,606 (3位)	356,738 (3位)
神奈川県	48,275 (4位)	476,534 (4位)	169,338 (5位)
福岡県	43,427 (5位)	348,707 (6位)	182,235 (4位)
北海道	42,769 (6位)	358,174 (7位)	164,552 (6位)
埼玉県	41,999 (7位)	380,174 (5位)	143,335 (7位)
兵庫県	41,549 (8位)	326,123 (8位)	121,079 (8位)
千葉県	35,950 (9位)	322,671 (9位)	106,258 (9位)
静岡県	35,498 (10位)	246,117 (10位)	94,518 (12位)

(出典) 経済産業省「商業統計」

大阪・関西の現状と強み ⑥豊富な観光資源

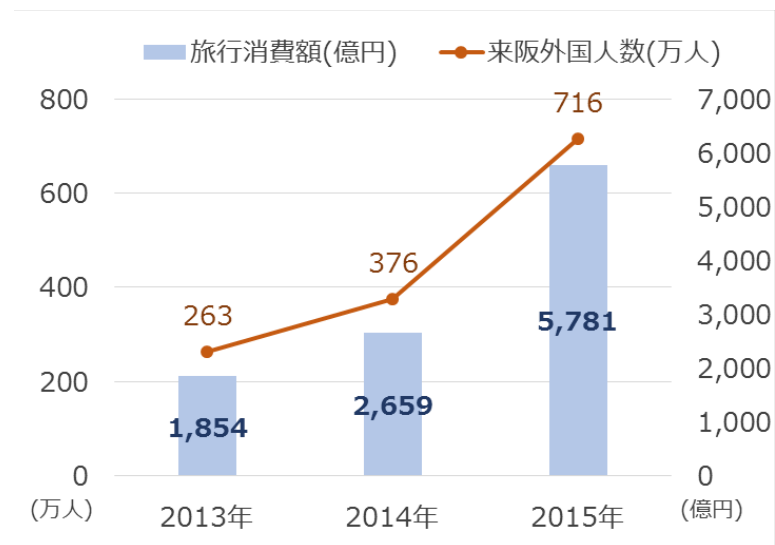
大阪府への外国人旅行者数は大きく増加しており、消費額も増えている。

■ 全国・大阪府の外国人旅行者数の推移



(出典) 大阪府「数字でみる大阪府の国際化」

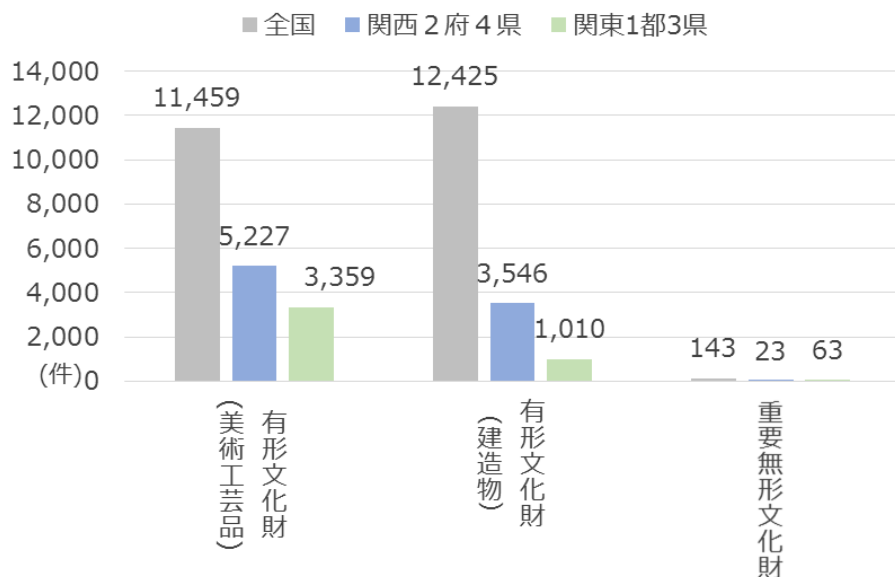
■ 来阪外国人旅行者数と消費額



(出典) 大阪府「第3回 大阪府都市魅力戦略推進会議 参考資料
目指すべき都市像にかかるKPI及び数値目標」

関西には重要文化財が多数集積しているほか、大規模な集客施設もあり、豊富な観光資源が存在している。

■ 重要文化財の件数



(出典) 文部科学庁「文部科学統計要覧（平成27年版）」

■ 大阪府の主要な観光施設の入場者数

No	施設名称	来場者数 (万人)	前年度比	実績年
1	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	1,390	109%	2015
2	海遊館	245	112%	2015
3	大阪城	212	116%	2015
4	天王寺動物園	173	127%	2015
5	ひらかたパーク	116	106%	2015
6	梅田スカイビル	97	113%	2014
7	通天閣	97	103%	2015

(出典) 総合ユニコム株式会社「『月間レジャー産業資料』8月号」、大阪市「平成28年3月7日 経済戦略局 報道発表」、産経新聞WEST、通天閣観光株式会社「有価証券報告書 第65期」